

昭和58年度海外開発計画調査委託事業の年度末実績報告書

昭和59年4月

国際協力事業団
鉱工業計画調査部

JICA
L000
60
MP
LIBRARY

鉱計
SC
84-100

国際協力事業団	
受入 月日 '85. 1. 11	1000
	60
登録No. 10978	MP

目 次

	(ページ)
I プロジェクト別計画承認及び支出実績一覧表	1
II 委託事業実施経費区分別実績総括表	9
III プロジェクト別収支決算	10
1 技術調査団派遣費	10
2 プロジェクト選定確認調査団派遣費	15
3 技術調査団長期派遣費	16
4 大規模開発協力基礎調査団派遣費	17
5 フォローアップ調査団派遣費	18
6 大型技術協力事業費	19
IV 昭和58年度実施調査の種類、現地調査期間、コンサルタント一覧表	20

(注) 各プロジェクト毎の詳細は、上記Iの表の中に「目次」としてページを示した。

JICA LIBRARY



1033684[0]

I プロジェクト別計画承認及び支出実績一覧表

(単位:円)

No	国名	プロジェクト名	区分	承認番号	承認年月日	組 日 書 業務完了期限	概算受入額	支出実績	返 納 額	ページ
1	シンガポール共和国	石炭火力発電所及び一貫製鉄所の立地に係る環境影響調査(大気関係)	技	58通第951号	58. 5. 24	58. 8. 31	6,653,000	6,012,890	640,110	
2 4	タイ王国	省エネルギープロジェクト開発計画調査	大	952号	58. 5. 25	59. 3. 31	83,236,000	80,881,052	2,354,948	
3	アルゼンチン共和国	堆積肥料計画調査	技	953号	58. 5. 20	59. 3. 31	71,815,000	71,190,460	624,540	
4	タイ王国	MAE-SOT地区産オイルシェール利用セメント工場建設計画調査	技	954号	58. 5. 25	58. 10. 31	25,452,000	24,856,574	595,426	
5	ペルー共和国	PVCI工場建設計画調査(申請調査)	技	955号	58. 5. 25	58. 6. 30	300,000	92,000	208,000	
6		PVC工場建設計画調査	技	956号	58. 5. 25	59. 3. 31	59,266,000	55,881,825	3,384,175	
7	エクアドル共和国	紙パルプ工場建設計画調査	技	957号	58. 5. 21	58. 6. 10	6,180,000	6,930,016	249,984	
8	中華人民共和国	工場(メカニズム・スピーカー)近代化計画調査	技	958号	58. 5. 25	58. 11. 30	15,204,000	14,977,564	226,436	
9		工場(プラスチック)近代化計画調査	技	959号	58. 5. 21	58. 10. 30	14,365,000	13,568,327	796,673	
10		工場(ポリバリコン)近代化計画調査	技	960号	58. 5. 14	59. 2. 10	13,280,000	12,754,794	525,206	
11		工場(家具)近代化計画調査	技	961号	58. 5. 21	59. 3. 20	22,303,000	19,703,350	2,599,650	
12		工場(光学機器)近代化計画調査	技	962号	58. 5. 25	59. 3. 20	19,705,000	17,520,740	2,184,260	

No	国名	プロジェクト名	区分	承認番号	承認年月日	経目書 業務完了期限	概算受入額	支出実績	返納額
13	中華人民共和国	工場(ガラス)近代化計画調査	技	58通第963号	58.5.25	59.3.10	18,551,000	17,961,810	589,190
14	インドネシア共和国	砂糖副産物利用工業開発計画調査	*	* 964 *	58.5.24	58.10.30	18,485,000	17,848,188	636,812
15	*	ムンブール地熱開発計画調査	大	* 1121 *	58.5.25	58.10.31	30,892,000	30,055,327	836,673
16	タイ王国	サンカンペン地熱開発計画調査	*	* 1122 *	58.5.25	59.2.28	75,928,000	74,227,998	1,700,002
17	フィリピン共和国	アクバン・イトゴン地熱開発計画調査	*	* 1123 *	58.6.25	59.3.20	99,787,000	98,641,472	1,145,528
18	アルゼンティン共和国	ネウケン州北地熱開発計画調査(一次)	*	* 1124 *	58.5.25	58.12.31	40,412,000	39,016,241	1,395,759
19	シンガポール共和国	石炭火力発電所及び一貫製鉄所の立地に係る環境影響調査(粉じん)(事前)	技	* 1219 *	58.5.24	58.8.31	1,907,000	1,069,315	837,685
20	アルジェリア 民主人民共和国	海水淡水化計画調査	*	* 965 *	58.5.19	58.10.31	60,060,000	58,402,304	1,657,696
21	*	海水淡水化計画調査(事前調査)	*	* 1125 *	58.5.25	58.7.31	500,000	99,000	401,000
22	フィリピン共和国	活性炭工業振興開発計画事前調査	*	* 1218 *	58.5.31	58.9.30	1,174,000	957,330	216,670
23	ペルー共和国	アリコータ水力発電開発計画調査	*	* 1133 *	58.5.25	58.12.31	68,414,000	66,462,294	1,951,706
24	インドネシア共和国	ルメン水力発電開発計画調査	*	* 1132 *	58.5.25	59.3.19	71,465,000	70,641,781	823,219
25	ドミニカ共和国	ユナ川水力発電開発計画調査	大	* 1152 *	58.5.28	59.3.31	147,002,000	144,944,118	2,057,882

No	国名	プロジェクト名	区分	承認番号	承認年月日	細目書 業務完了期限	概算受入額	支出実績	返納額	ページ
26	フィリピン共和国	マツノ川開発計画調査	大	58通第1153号	58.5.31	59.2.28	81,293,000	76,120,722	5,172,278	
27	ケニア共和国	ソンドウ川水力発電開発計画事前調査	技	1227号	58.6.8	59.2.15	13,162,000	12,304,676	857,324	
28	マレーシア	テカイ川水力発電開発計画調査	長	1225号	58.6.8	58.12.28	52,474,000	50,660,477	1,813,523	
29	インドネシア共和国	コタバンジャン水力発電開発計画調査	大	1226号	58.6.8	59.3.31	37,348,000	36,516,394	831,606	
30	中華人民共和国	工場(家具、ガラス、光学機器)近代化計画事前調査	技	1230号	58.6.8	58.9.30	300,000	56,000	244,000	
31		調査団収集資料整備事業		1266号	58.5.26	59.3.31	10,545,000	10,114,721	430,279	
32		調査事業の計画策定・管理のための附帯業務		1267号 2359号	58.5.18 59.1.17	59.3.31	13,396,000	6,797,162	6,598,838	
33	エジプト・アラブ共和国	火力発電開発計画調査		1282号	58.5.20	59.2.28	217,306,000	209,622,089	7,683,911	
34	フィリピン共和国	活性炭工業振興開発計画調査		1265号	58.6.20	59.3.31	67,925,000	66,042,452	1,882,548	
35	スワジランド王国	ルブク石炭開発計画事前調査	大	1329号	58.6.17	58.10.31	5,675,000	5,159,873	515,127	
36	フィリピン共和国	レイテ・ミンダナオ送電線開発計画調査	技	1328号	58.6.13	59.3.31	218,128,000	209,300,786	3,827,214	
37	トルコ共和国	ベシュコナック水力発電開発計画調査	大	1327号	58.6.23	58.12.24	15,974,000	15,122,330	851,670	
38	中華人民共和国	西江水力発電開発計画調査		1297号	58.6.8	59.3.1	89,307,000	88,613,486	793,514	

(単位:円)

No	国名	プロジェクト名	区分	承認番号	承認年月日	細目書 業務完了期限	概算受入額	支出実績	返納額	ページ
39	タイ王国	ナムヤム水力発電開発計画調査	技	58通第1296号	58.5.30	59.3.31	50,552,000	47,783,870	2,768,130	
40		鉱工業プロジェクトフォローアップ調査	P/U	1330	58.7.18	59.3.31	12,723,000	12,284,484	438,516	
41	グアテマラ共和国	製糖所建設計画事前調査	技	1429	58.6.23	58.10.31	4,954,000	4,536,859	417,141	
42	タイ王国	金属加工業振興計画事前調査	技	1436	58.6.23	58.11.30	2,847,000	2,585,451	261,549	
43	メキシコ合衆国	産業廃棄物処理開発計画 (予備調査)	技	1449	58.6.15	58.10.31	3,861,000	3,540,937	320,063	
44	コロンビア共和国	アトラート河水力発電開発計画調査	技	1518	58.7.25	59.3.20	15,200,000	11,168,000	4,032,000	
45	ASEAN諸国	ASEAN諸国鉱工業プロジェクト選定確認調査	P/P	1461	58.6.15	58.12.31	2,948,000	1,935,742	1,012,258	
46	ネパール王国	尿素肥料工場建設計画事前調査	技	1685	58.9.19	58.12.20	5,066,000	4,577,971	488,029	
47	トンガ王国	情報処理システム開発計画事前調査	技	1586	58.7.29	58.10.31	4,611,000	4,033,584	577,416	
48	シンガポール共和国	石炭火力発電所及び一貫製鉄所 設立に係る環境への影響調査 (粉じん)	技	1592	58.7.29	59.3.31	66,944,000	64,802,483	2,141,517	
49	フィリピン共和国	サンロケ水力発電開発計画予備調査	技	1591	58.7.14	58.10.31	2,889,000	2,386,037	502,963	
50	ヴェネズエラ メキシコ	中浦米(ヴェネズエラ、メキシコ) 地熱開発計画予備調査	大	1593	58.7.21	58.10.31	10,344,000	9,385,104	958,896	
51	インドネシア共和国	第2製鉄所建設計画予備調査	技	1643	58.8.19	59.1.31	5,910,000	5,358,719	551,281	

(単位:円)

No	国名	プロジェクト名	区分	承認番号	承認年月日	総目書 業務完了期限	概算受入額	支出実績	返納額	ページ
52	中南米諸国	中南米諸国工業プロジェクト 選定確認調査	P/P	58通第1671号	58.8.18	59.3.31	747,000	563,081	183,919	
53	グアテマラ共和国	製油所建設計画調査	技	★ 1747★	58.10.3	59.3.20	37,282,000	36,911,900	370,100	
54	アルゼンティン共和国	ネウケン州北極地熱開発計画調査 (第二次)	大	★ 1813★	58.9.28	59.3.20	144,431,000	139,517,085	4,913,915	
55	トンガ王国	情報処理システム開発計画調査	技	★ 1884★	58.10.31	59.3.31	29,452,000	28,866,000	586,000	
56	ザンビア共和国	焼鉱石開発計画予備調査	★	★ 1883★	58.10.5	58.12.31	11,008,000	10,083,217	924,783	
57	タイ王国	潤滑油製造プラント計画(事前 調査)	★	★ 2133★	58.11.4	59.3.20	6,636,000	6,431,946	204,054	
58	フィリピン共和国	サンロケ多目的ダム(水質予測) 開発計画事前調査	★	★ 1890★	58.10.4	59.1.10	2,123,000	1,536,273	586,727	
59	アセアン諸国	アセアン諸国工業プロジェクト 選定確認調査(プラントリノ バージョン)	P/P	★ 1965★	58.10.24	58.12.31	4,784,000	4,139,009	644,991	
60	タイ王国	金属加工業振興計画調査	技	★ 2195★	58.11.28	59.3.31	16,237,000	16,103,000	134,000	
61	スワジランド王国	ルブク石灰開発計画調査	大	★ 2174★	58.11.18	59.3.20	166,213,000	119,697,708	46,515,292	
62	中華人民共和国	工場(ボールペンインキ、乾燥 器、化学調味料)近代化計画事 前調査	技	★ 2227★	58.11.28	59.2.29	6,062,000	5,568,919	493,081	
63	ネパール王国	尿素肥料工場建設計画調査	★	★ 2233★	58.12.10	59.3.20	39,500,000	39,184,605	315,395	
64	フィリピン共和国	サンロケ多目的ダム(水質予測) 開発計画調査	★	★ 2177★	58.11.15	59.1.10 59.3.31	44,318,000 42,930,000	41,927,311 42,585,400	2,390,689 344,600	

(単位:円)

No	国名	プロジェクト名	区分	承認番号	承認年月日	組立書 業務完了期限	概算受入額	支出実績	返納額	ページ
65	マレーシア	テノンパンギ水力発電開発計画 予備調査	技	58通第2228号	58.11.28	59.3.31	9,179,000	8,618,766	560,234	
66	ペルー共和国	エネ川水力発電開発計画予備調 査	大	* 2234 *	58.11.15	59.2.29	3,648,000	3,242,233	405,767	
67	インドネシア共和国	東部ジャワ送配電網整備計画事 前調査	技	* 2232 *	58.11.21	59.1.31	7,723,000	7,243,716	474,284	
68	アルジェリア 民主人民共和国	海水淡水化計画(オラン・モス タガネム地域)事前調査	*	* 2308 *	58.12.8	59.3.20	10,942,000	10,140,053	801,947	
69	タイ王国	サンカンベン地熱開発計画調査 (第二次)	大	* 2323 *	58.12.10	59.3.25	284,524,000	267,793,967	16,730,033	
70	ケニア共和国	ソンドウ川水力発電開発計画調 査	技	* 2307 *	58.12.27	59.3.31	83,025,000	80,170,628	2,854,372	
71	インドネシア共和国	プラント(紙・パルプ)リノベ ーション計画事前調査	*	* 2367 *	58.12.14	59.3.20	3,937,000	3,307,317	629,683	
72	タイ王国	桐油製造プラント建設計画調 査	*	* 2417 *	59.1.25	59.3.31	22,173,000	21,727,000	446,000	
73	インドネシア共和国	東部ジャワ送配電網整備計画調 査	*	59通第98号	59.2.6	59.3.19	15,230,000	14,215,547	1,014,453	
74	アルジェリア 民主人民共和国	海水淡水化計画(オラン・モス タガネム地域)調査	*	* 97 *	59.2.6	59.3.31	59,869,000	55,986,000	3,883,000	
75	サウディ・アラビア王国	海水淡水化技術協力計画(研究 開発)	大型	* 117 *	59.1.31	59.3.16	16,702,000	14,200,000	2,502,000	
76	インドネシア共和国	バンコ炭有効利用計画調査	技	* 155 *	59.2.17	59.3.31	10,250,000	9,859,627	390,373	
77	*	プラント機器製造産業振興計画 予備調査	*	* 111 *	59.2.6	59.3.31	4,152,000	3,973,211	178,789	

(単位:円)

No	国名	プロジェクト名	区分	承認番号	承認年月日	総目書 業務完了期限	概算受入額	支出実績	返納額	ページ
78	タンザニア共和国	グルエスサラーム送配電網計画 事前調査	技	59通第 118号	59. 2. 10	59. 3. 31	11,727,000	11,021,421	705,579	
79	中華人民共和国	工場(ボールペンインキ)近代 化計画調査	+	153+	59. 2. 27	59. 3. 31	5,735,000	5,518,000	217,000	
80	インドネシア共和国	プラント(紙、パルプ)リノベ ーション計画調査	+	159+	59. 2. 22	59. 3. 31	24,131,000	23,358,000	773,000	
81	メキシコ合衆国	ラ・プリマベラ地熱開発計画 事前調査	大	151+	59. 2. 15	59. 3. 20	5,306,000	5,069,320	236,180	
82	コスタリカ共和国	石炭開発計画事前調査	+	152+	59. 2. 15	59. 3. 20	4,003,000	3,661,313	341,687	
83	インドネシア共和国	第2製鉄所建設計画第二次予備 調査	技	150+	59. 2. 27	59. 3. 31	7,188,000	6,825,378	362,622	
84										
85	フィリピン共和国	プラントリノベーション(ルソ ン島送電網)計画予備調査	技	59通第 101号	59. 1. 24	59. 3. 31	2,890,000	2,167,721	722,279	
86	インドネシア共和国	プラント(苛性ソーダ)リノベ ーション計画事前調査	+	149+	59. 2. 22	59. 3. 31	2,941,000	2,663,649	277,351	
87	中華人民共和国	工場(制御整流素子)近代化計 画調査	+	201+	59. 2. 24	59. 3. 31	7,139,000	6,159,000	980,000	
88	+	工場(計器、サインペン)近代 化計画事前調査	+	200+	59. 3. 7	59. 3. 31	4,622,000	4,242,764	379,236	
89	エクアドル共和国	代替エネルギー開発計画予備 調査	+	321+	59. 3. 8	59. 3. 31	8,035,000	6,608,061	1,426,939	
90	ペルー共和国	エネ川水力発電開発計画マスタ ープラン作成事前調査	大	248+	59. 3. 5	59. 3. 31	11,995,000	10,852,901	1,142,099	

(単位：円)

No	国名	プロジェクト名	区分	承認番号	承認年月日	科目書 業務完了期限	概算受入額	支出実績	返納額	ページ
91	タイ王国	南バンコク火力発電所リノベーション協力計画事前調査	技	59通第 329号	59.3.8	59.3.31	6,052,000	5,656,099	395,901	
		合 計					3,163,859,000	2,991,809,825	172,049,175	

II 委託事業実施経費区分別実績総括表

(単位:円)

区 分	(1) 当初計百額		(2) 節約額	(3) 流用額	(4) 流用後計百額 (1)-(2)+(3)	(5) 概算受入額	(6) 支出実績額		(7) 返納額 (5)-(6)	(8) 不用額 (4)-{(5)+(7)}	(9) 繰越額	
	件数	金額	金額	金額	金額	金額	件数	金額	金額	金額	件数	金額
1 技術調査団派遣費	43	1,863,414,000	△132,365,000	285,628,000	2,016,676,000	1,736,163,000	65	1,659,607,888	76,555,112	35,378,000	4	245,135,000
2 プロジェクト選定 確認調査団派遣費	3	11,782,000	△ 825,000	0	10,957,000	8,479,000	3	6,637,632	1,841,168	2,478,000	0	0
3 技術調査団長期 派遣費	4	150,195,000	△ 10,514,000	△87,207,000	52,474,000	52,474,000	1	55,680,477	1,813,523	0	0	0
4 大規模開発協力 基礎調査団派遣費	14	1,636,204,000	△100,462,000	△198,421,000	1,337,318,000	1,337,318,000	19	1,248,419,144	88,893,656	0	0	0
5 フォローアップ 調査団派遣費	1	14,211,000	△ 995,000	0	13,216,000	12,723,000	1	12,284,484	433,516	493,000	0	0
6 大型技術協力 事業費	1	216,935,000	△ 2,235,000	0	214,700,000	16,702,000	1	14,200,000	2,502,000	△ 300,000	1	198,298,000
合 計	66	3,892,738,000	△247,397,000	0	3,645,341,000	3,163,859,000	90	2,991,809,825	172,049,175	38,049,000	5	443,433,000

Ⅲ プロジェクト別収支決算

1 技術調査団派遣費

上: 概算受入額
中: 支出実績額
下: 返納額 (単位: 円)

No.	プロジェクト名	調査旅費	現地調査費	資機材購送費	機材供与費	報告書作成費	技術費	附帯費	計	ページ
1	シンガポール共和国 石炭火力発電所及び一貫製鉄所の立地に係る環境影響調査(大気関係)	1,777,000	90,000	0	0	3,100,000	1,395,000	291,000	6,653,000	
		1,776,115	0	0	0	2,745,000	1,395,000	96,775	6,012,890	
		885	90,000	0	0	355,000	0	194,225	640,110	
3	アルゼンチン共和国 焼成肥料計画調査	9,463,000	1,535,000	0	0	0	60,661,000	156,000	71,815,000	
		9,463,000	1,078,000	0	0	0	60,641,000	8,460	71,190,460	
		0	457,000	0	0	0	20,000	147,540	624,540	
4	タイ王国 MAE-SOT地区産オイルシェール利用セメント工場建設計画調査	1,941,000	117,000	10,000	0	4,387,000	18,664,000	333,000	25,452,000	
		1,547,000	48,000	0	0	4,387,000	18,664,000	210,574	24,856,574	
		394,000	69,000	10,000	0	0	0	122,426	595,426	
5	ペルー共和国 PVC工場建設計画調査(事前調査)	0	0	0	0	300,000	0	0	300,000	
		0	0	0	0	92,000	0	0	92,000	
		0	0	0	0	208,000	0	0	208,000	
6	* PVC工場建設計画調査	11,784,000	2,067,000	10,000	0	4,232,000	40,767,000	406,000	59,266,000	
		10,974,000	364,000	0	0	3,625,000	40,767,000	151,825	55,831,825	
		810,000	1,703,000	10,000	0	607,000	0	254,175	3,384,175	
7	エクアドル共和国 紙パルプ工場建設計画調査	0	0	0	0	5,840,000	0	340,000	6,180,000	
		0	0	0	0	5,779,000	0	151,016	5,930,016	
		0	0	0	0	61,000	0	188,984	249,984	
8	中華人民共和国 工場(メカニズム・スピーカー)近代化計画調査	818,000	78,000	0	0	3,000,000	10,801,000	507,000	15,204,000	
		800,000	0	0	0	2,964,000	10,801,000	412,564	14,977,564	
		18,000	78,000	0	0	36,000	0	94,436	226,436	
9	* 工場(プラスチック)近代化計画調査	818,000	57,000	0	0	4,620,000	8,386,000	484,000	14,365,000	
		818,000	26,000	0	0	4,222,000	8,386,000	116,327	13,568,327	
		0	31,000	0	0	398,000	0	367,673	796,673	
10	* 工場(ポリバリコン)近代化計画調査	1,705,000	342,000	0	0	2,000,000	8,985,000	248,000	13,280,000	
		1,705,000	0	0	0	1,990,000	8,985,000	74,794	12,754,794	
		0	342,000	0	0	10,000	0	173,206	525,206	
11	* 工場(家具)近代化計画調査	2,308,000	501,000	10,000	0	3,080,000	16,262,000	142,000	22,303,000	
		1,974,000	144,000	0	0	1,298,000	16,262,000	25,350	19,703,350	
		334,000	357,000	10,000	0	1,782,000	0	116,650	2,599,650	
12	* 工場(光学機器)近代化計画調査	2,339,000	509,000	10,000	0	3,080,000	13,574,000	193,000	19,705,000	
		1,968,000	136,000	0	0	1,815,000	13,574,000	27,740	17,520,740	
		371,000	373,000	10,000	0	1,265,000	0	165,260	2,184,260	
13	* 工場(ガラス)近代化計画調査	2,064,000	336,000	10,000	0	3,080,000	12,919,000	142,000	18,551,000	
		1,806,000	69,000	0	0	3,066,000	12,919,000	101,810	17,961,810	
		258,000	267,000	10,000	0	14,000	0	40,190	589,190	

上：概算受入額
 中：支出実績額
 下：返 給 額 (単位：円)

No	プロジェクト名	調査旅費	現地調査費	資機材購送費	機材供与費	報告書作成費	技術費	附帯費	計	ページ
14	インドネシア共和国 砂礫副産物利用工業開発計画調査	1,803,000	224,000	10,000	0	3,440,000	12,765,000	243,000	18,485,000	
		1,802,817	77,938	0	0	3,262,000	12,615,000	90,433	17,848,188	
		183	146,062	10,000	0	178,000	150,000	152,567	636,812	
19	シンガポール共和国 石炭火力発電所及び一貫製鉄所の立地に係る環境影響調査(粉じん)(事前)	1,375,000	157,000	30,000	0	200,000	0	145,000	1,907,000	
		922,368	75,097	29,450	0	40,000	0	2,400	1,069,315	
		452,632	81,903	550	0	160,000	0	142,600	837,685	
20	アルジェリア民主人民共和国 海水淡水化計画調査	8,811,000	960,000	20,000	0	7,539,000	42,442,000	288,000	60,060,000	
		7,693,730	577,473	9,890	0	7,433,000	42,442,000	246,211	58,402,304	
		1,117,270	382,527	10,110	0	106,000	0	41,789	1,657,696	
21	海水淡水化計画調査(事前調査)	0	0	0	0	500,000	0	0	500,000	
		0	0	0	0	99,000	0	0	99,000	
		0	0	0	0	401,000	0	0	401,000	
22	フィリピン共和国 活性炭工業振興開発計画事前調査	0	0	0	0	200,000	744,000	230,000	1,174,000	
		0	0	0	0	74,000	744,000	139,330	957,330	
		0	0	0	0	126,000	0	90,670	216,670	
23	ペルー共和国 アリコータ水力発電開発計画調査	5,997,000	744,000	0	0	6,300,000	54,677,000	696,000	68,414,000	
		5,049,955	277,073	0	0	6,300,000	54,514,000	321,266	66,462,294	
		947,045	466,927	0	0	0	163,000	374,734	1,951,706	
24	インドネシア共和国 ルマン水力発電開発計画調査	10,455,000	5,947,000	3,854,000	0	20,000	50,571,000	618,000	71,465,000	
		10,454,233	5,480,000	3,694,000	0	20,000	50,570,000	423,548	70,641,781	
		767	467,000	160,000	0	0	1,000	194,452	823,219	
27	ケニア共和国 ソンドゥ川水力発電開発計画事前調査	7,403,000	1,253,000	90,000	0	500,000	3,746,000	170,000	13,162,000	
		7,374,394	859,902	40,930	0	257,000	3,746,000	26,450	12,304,676	
		28,606	393,098	49,070	0	243,000	0	143,550	857,324	
30	中華人民共和国 工場(家具、ガラス、光学機器)近代化計画事前調査	0	0	0	0	300,000	0	0	300,000	
		0	0	0	0	56,000	0	0	56,000	
		0	0	0	0	244,000	0	0	244,000	
31	調査団収集資料整備事業	0	0	0	0	10,545,000	0	0	10,545,000	
		0	0	0	0	10,114,721	0	0	10,114,721	
		0	0	0	0	430,279	0	0	430,279	
32	調査事業の計画策定・管理のための附帯業務	0	0	0	0	0	0	13,396,000	13,396,000	
		0	0	0	0	0	0	6,797,162	6,797,162	
		0	0	0	0	0	0	6,598,838	6,598,838	
33	エジプト・アラブ共和国 火力発電開発計画調査	16,550,000	6,464,000	2,148,000	0	10,066,000	180,697,000	1,381,000	217,306,000	
		14,405,037	3,912,559	1,476,000	0	10,066,000	179,016,000	746,443	209,622,039	
		2,144,913	2,551,441	672,000	0	0	1,681,000	634,557	7,683,911	
34	フィリピン共和国 活性炭工業振興開発計画調査	10,763,000	2,909,000	2,650,000	32,052,000	0	18,348,000	703,000	67,925,000	
		10,818,875	2,882,353	1,608,884	31,757,000	0	18,882,000	93,340	66,042,452	
		△ 55,875	26,647	1,041,116	295,000	0	△ 34,000	609,660	1,882,548	

上: 概算受入額
 中: 支出実績額
 下: 返納額 (単位: 円)

No	プロジェクト名	調査旅費	現地調査費	資機材購送費	機材供与費	報告書作成費	技術費	附帯費	計	ページ	
36	フィリピン共和国	レイテ・ミンダナオ送電線開	13,499,000	23,489,000	24,334,000	0	5,860,000	145,296,000	650,000	213,128,000	
		発計画調査	12,095,000	22,704,000	23,683,000	0	5,860,000	144,693,000	265,786	209,300,786	
			1,404,000	785,000	651,000	0	0	603,000	384,214	3,827,214	
39	タイ王国	ナムヤム水力発電開発計画	3,845,000	1,278,000	289,000	0	5,500,000	39,250,000	390,000	50,552,000	
		調査	2,585,171	593,622	0	0	5,500,000	39,007,000	98,077	47,783,870	
			1,259,829	684,378	289,000	0	0	243,000	291,923	2,768,130	
41	グアテマラ共和国	製油所建設計画事前調査	2,755,000	376,000	30,000	0	300,000	1,394,000	99,000	4,954,000	
			2,750,272	225,197	28,930	0	137,000	1,394,000	1,460	4,636,859	
			4,728	150,803	1,070	0	163,000	0	97,540	417,141	
42	タイ王国	金属加工業振興計画事前調査	1,756,000	256,000	30,000	0	200,000	491,000	114,000	2,847,000	
			1,755,148	173,063	24,380	0	100,000	491,000	41,860	2,585,451	
			852	82,937	5,620	0	100,000	0	72,140	261,549	
43	メキシコ合衆国	産業廃棄物処理開発計画(予備調査)	2,302,000	551,000	30,000	0	300,000	577,000	101,000	3,861,000	
			2,295,253	484,454	0	0	153,480	577,000	30,750	3,540,937	
			6,747	66,546	30,000	0	146,520	0	70,250	320,063	
44	コロンビア共和国	アトラート河水力発電開発計画	6,055,000	2,280,000	450,000	0	0	6,155,000	260,000	15,200,000	
			4,170,000	843,000	0	0	0	6,155,000	0	11,168,000	
			1,885,000	1,437,000	450,000	0	0	0	260,000	4,032,000	
46	ネパール王国	尿素肥料工場建設計画事前調査	2,455,000	404,000	30,000	0	300,000	1,752,000	125,000	5,066,000	
			2,454,565	237,936	23,170	0	104,500	1,752,000	5,800	4,577,971	
			435	166,064	6,830	0	195,500	0	119,200	483,029	
47	トンガ王国	情報処理システム開発計画事前調査	2,850,000	404,000	30,000	0	200,000	974,000	153,000	4,611,000	
			2,870,177	134,797	28,250	0	58,300	932,000	10,060	4,033,584	
			△ 20,177	269,203	1,750	0	141,700	42,000	142,940	577,416	
48	シンガポール共和国	石炭火力発電所及び一貫製鉄所設立に係る環境への影響調査(粉じん)	10,187,000	0	9,302,000	23,176,000	0	24,007,000	272,000	66,944,000	
			10,187,000	0	7,705,883	22,933,000	0	23,947,000	29,600	64,802,483	
			0	0	1,596,117	243,000	0	60,000	242,400	2,141,517	
49	フィリピン共和国	サンロケ水力発電開発計画予備調査	1,956,000	503,000	50,000	0	300,000	0	80,000	2,889,000	
			1,948,450	437,587	0	0	0	0	0	2,386,037	
			7,550	65,413	50,000	0	300,000	0	80,000	502,963	
51	インドネシア共和国	第2製鉄所建設計画予備調査	3,112,000	480,000	30,000	0	300,000	1,887,000	101,000	5,910,000	
			3,108,060	265,259	26,230	0	54,000	1,887,000	18,170	5,358,719	
			3,940	214,741	3,770	0	246,000	0	82,830	551,281	
53	グアテマラ共和国	製油所建設計画調査	7,429,000	1,570,000	0	0	0	28,187,000	96,000	37,282,000	
			7,429,000	1,272,000	0	0	0	28,187,000	23,900	36,911,900	
			0	298,000	0	0	0	0	72,100	370,100	
55	トンガ王国	情報処理システム開発計画調査	6,428,000	526,000	242,000	0	0	23,043,000	213,000	29,452,000	
			6,428,000	360,000	0	0	0	23,043,000	35,000	28,866,000	
			0	166,000	242,000	0	0	0	178,000	586,000	

上：概算受入額
中：支出実績額
下：返納額 (単位：円)

No	プロジェクト名	調査採費	現地調査費	資機材 購送費	機材 供与費	報告書 作成費	技術費	附帯費	計	ページ
56	ザンビア共和国	5,192,000	766,000	0	0	300,000	4,292,000	458,000	11,008,000	
		5,126,800	493,817	0	0	169,000	4,292,000	61,600	10,083,217	
		65,200	332,183	0	0	131,000	0	396,400	924,783	
57	タイ王国	2,220,000	407,000	30,000	0	270,000	3,586,000	123,000	6,636,000	
		2,214,601	353,245	0	0	270,000	3,586,000	8,100	6,431,946	
		5,399	53,755	30,000	0	0	0	114,900	204,054	
58	フィリピン共和国	1,375,000	282,000	0	0	300,000	0	166,000	2,123,000	
		1,374,735	123,538	0	0	0	0	38,000	1,536,273	
		265	158,462	0	0	300,000	0	128,000	586,727	
60	タイ王国	1,272,000	601,000	0	0	0	14,230,000	134,000	16,237,000	
		1,272,000	601,000	0	0	0	14,230,000	0	16,103,000	
		0	0	0	0	0	0	134,000	134,000	
62	中華人民共和国	2,176,000	659,000	30,000	0	0	2,984,000	213,000	6,062,000	
		2,170,432	383,077	0	0	0	2,984,000	31,410	5,568,919	
		5,568	275,923	30,000	0	0	0	181,590	493,081	
63	ネパール王国	5,214,000	901,000	986,000	0	0	32,219,000	180,000	39,500,000	
		5,214,000	739,000	985,820	0	0	32,214,000	31,785	39,184,605	
		0	162,000	180	0	0	5,000	148,215	315,395	
64 (1)	フィリピン共和国	6,704,000	10,580,000	7,535,000	0	0	19,198,000	301,000	44,318,000	
		6,593,503	9,010,908	7,535,000	0	0	18,762,000	25,900	41,927,311	
		110,497	1,569,092	0	0	0	436,000	275,100	2,390,689	
64 (2)	* * (二次)	5,763,000	8,431,000	5,326,000	0	0	23,212,000	198,000	42,930,000	
		5,763,000	8,245,000	5,326,000	0	0	23,198,000	53,400	42,585,400	
		0	186,000	0	0	0	14,000	144,600	344,600	
65	マレーシア	3,151,000	523,000	30,000	0	300,000	5,085,000	90,000	9,179,000	
		3,076,480	263,576	5,710	0	185,000	5,085,000	3,000	8,618,766	
		74,520	259,424	24,290	0	115,000	0	87,000	560,234	
67	インドネシア共和国	2,554,000	464,000	0	0	400,000	4,205,000	100,000	7,723,000	
		2,537,497	252,519	0	0	249,000	4,205,000	4,700	7,248,716	
		16,503	211,481	0	0	151,000	0	95,300	474,284	
68	アルジェリア 民主人民共和国	5,641,000	1,060,000	20,000	0	150,000	3,906,000	165,000	10,942,000	
		5,545,233	601,080	9,540	0	71,000	3,906,000	7,200	10,140,053	
		95,767	458,920	10,460	0	79,000	0	157,800	801,947	
70	ケニア共和国	26,475,000	8,320,000	4,877,000	4,000,000	0	38,799,000	554,000	83,025,000	
		24,815,178	8,265,770	4,662,556	3,980,000	0	38,399,000	148,124	80,170,628	
		1,659,822	54,230	314,444	20,000	0	400,000	405,876	2,854,372	
71	インドネシア共和国	1,893,000	383,000	30,000	0	300,000	1,166,000	165,000	3,937,000	
		1,892,375	196,442	0	0	74,000	1,143,000	1,500	3,307,317	
		625	186,558	30,000	0	226,000	23,000	163,500	629,683	

上：概算受入額
中：支出実績額
下：返納額
(単位：円)

No	プロジェクト名	調査経費	現地調査費	資機材購送費	機材供与費	報告書作成費	技術費	附帯費	計	ページ	
72	タイ王国	泥留機製造プラント建設計画	3,765,000	1,316,000	0	0	32,000	16,959,000	101,000	22,173,000	
		調査	3,765,000	999,000	0	0	0	16,959,000	4,000	21,727,000	
			0	317,000	0	0	32,000	0	97,000	446,000	
73	インドネシア共和国	東部ジャワ送配電網整備計画	3,480,000	540,000	60,000	0	85,000	10,795,000	270,000	15,230,000	
		調査	2,980,317	355,230	0	0	85,000	10,795,000	0	14,215,547	
			499,683	184,770	60,000	0	0	0	270,000	1,014,453	
74	アルジェリア民主人民共和国	海水淡水化計画(オラン・モスタガネム地域)調査	16,165,000	4,644,000	1,650,000	0	0	37,260,000	150,000	59,869,000	
			16,165,000	2,788,000	0	0	0	37,033,000	0	55,986,000	
			0	1,856,000	1,650,000	0	0	227,000	150,000	3,883,000	
76	インドネシア共和国	パンコ炭有効利用計画調査	3,417,000	474,000	30,000	0	0	6,263,000	66,000	10,250,000	
			3,416,774	171,153	0	0	0	6,263,000	8,700	9,859,627	
			226	302,847	30,000	0	0	0	57,300	390,373	
77	インドネシア共和国	プラント機器製造産業振興計画	1,825,000	354,000	0	0	0	1,909,000	64,000	4,152,000	
		調査	1,821,168	239,043	0	0	0	1,909,000	4,000	3,973,211	
			3,832	114,957	0	0	0	0	60,000	178,789	
78	タンザニア共和国	ダルエスサラーム送配電網計画	6,497,000	635,000	0	0	300,000	3,987,000	308,000	11,727,000	
		調査	6,583,867	440,654	0	0	0	3,987,000	9,900	11,021,421	
			△ 86,867	194,346	0	0	300,000	0	298,100	705,579	
79	中華人民共和国	工場(ボールペンインキ)近代化計画調査	1,250,000	170,000	0	0	0	4,268,000	47,000	5,735,000	
			1,250,000	0	0	0	0	4,268,000	0	5,518,000	
			0	170,000	0	0	0	0	47,000	217,000	
80	インドネシア共和国	プラント(紙・パルプ)リノベーション計画調査	7,329,000	707,000	0	0	0	16,002,000	93,000	24,131,000	
			7,081,000	275,000	0	0	0	16,002,000	0	23,358,000	
			248,000	432,000	0	0	0	0	93,000	773,000	
83	*	第2製鉄所建設計画第二次予備調査	2,887,000	652,000	30,000	0	0	3,528,000	91,000	7,188,000	
			2,773,224	503,864	16,890	0	0	3,528,000	4,400	6,825,378	
			113,776	148,136	14,110	0	0	0	86,600	362,622	
85	フィリピン共和国	プラントリノベーション(ルソン島送電網)計画予備調査	950,000	342,000	20,000	0	300,000	1,243,000	30,000	2,890,000	
			949,660	194,061	0	0	0	1,024,000	0	2,167,721	
			340	147,939	20,000	0	300,000	224,000	30,000	722,279	
86	インドネシア共和国	プラント(苛性ソーダ)リノベーション計画調査	1,698,000	238,000	20,000	0	0	862,000	123,000	2,941,000	
			1,697,523	100,646	0	0	0	862,000	3,480	2,663,649	
			477	137,354	20,000	0	0	0	119,520	277,351	
87	中華人民共和国	工場(製紙整液素子)近代化計画調査	1,917,000	170,000	0	0	0	4,989,000	63,000	7,139,000	
			1,696,000	0	0	0	0	4,463,000	0	6,159,000	
			221,000	170,000	0	0	0	526,000	63,000	980,000	
88	*	工場(計器、サインペン)近代化計画調査	1,726,000	490,000	30,000	0	0	2,256,000	120,000	4,622,000	
			1,624,843	333,851	28,070	0	0	2,256,000	0	4,242,764	
			101,157	156,149	1,930	0	0	0	120,000	379,236	

上：概算受入額
中：支出実績額
下：返納額 (単位：円)

No	プロジェクト名		調査旅費	現地調査費	資機材購送費	機材供与費	報告書作成費	技術費	附帯費	計	ページ
89	エクアドル共和国	代替エネルギー開発計画予備調査	3,905,000	593,000	40,000	0	300,000	2,943,000	254,000	8,035,000	
			3,910,370	326,191	0	0	0	2,371,000	0	6,608,061	
			△ 5,370	266,809	40,000	0	300,000	572,000	254,000	1,426,939	
91	タイ王国	南バンコク火力発電所リノベーション協力計画(事前調査)	2,141,000	479,000	0	0	0	3,169,000	263,000	6,052,000	
			2,116,673	354,426	0	0	0	3,169,000	16,000	6,656,099	
			24,327	124,574	0	0	0	0	247,000	395,901	
小	計		290,385,000	101,588,000	64,443,000	59,228,000	92,626,000	1,099,237,000	28,656,000	1,736,163,000	
			275,856,423	80,288,401	56,847,583	58,670,000	82,775,001	1,093,831,000	11,289,480	1,659,607,838	
			14,528,577	21,299,599	7,595,417	558,000	9,850,999	5,356,000	17,366,520	76,555,112	

上：概算受入額
中：支出実績額
下：返納額 (単位：円)

2 プロジェクト選定確認調査団派遣費

No	プロジェクト名		調査旅費	現地調査費	資機材購送費	機材供与費	報告書作成費	技術費	附帯費	計	ページ
45	ASEAN諸国	ASEAN諸国鉱工業プロジェクト選定確認調査	1,692,000	949,000	40,000	0	0	0	267,000	2,948,000	
			1,685,295	250,447	0	0	0	0	0	1,935,742	
			6,705	698,553	40,000	0	0	0	267,000	1,012,258	
52	中南米諸国	中南米諸国鉱工業プロジェクト選定確認調査	510,000	162,000	0	0	0	0	75,000	747,000	
			507,428	55,653	0	0	0	0	0	563,081	
			2,572	106,347	0	0	0	0	75,000	183,919	
59	アセアン諸国	アセアン諸国鉱工業プロジェクト選定確認調査(プラントリノベーション)	2,687,000	641,000	30,000	0	300,000	930,000	196,000	4,784,000	
			2,693,013	497,436	18,560	0	0	930,000	0	4,139,009	
			△ 6,013	143,564	11,440	0	300,000	0	196,000	644,991	
小	計		4,889,000	1,752,000	70,000	0	300,000	930,000	538,000	8,479,000	
			4,885,736	803,536	18,560	0	0	930,000	0	6,637,832	
			3,264	948,464	51,440	0	300,000	0	538,000	1,841,168	

3 技術調査団長期派遣費

上：概算受入額
 中：支出実績額
 下：返納額 (単位：円)

No	プロジェクト名		調査旅費	現地調査費	資機材購送費	機材供与費	報告書作成費	技術費	附帯費	計	ページ
28	マレーシア	テカイ川水力発電開発計画調査	1,429,000	206,000	111,000	0	7,710,000	42,218,000	800,000	52,474,000	
			916,000	0	0	0	6,915,000	42,218,000	611,477	50,660,477	
			513,000	206,000	111,000	0	795,000	0	188,523	1,813,523	
小計		1,429,000	206,000	111,000	0	7,710,000	42,218,000	800,000	52,474,000		
		916,000	0	0	0	6,915,000	42,218,000	611,477	50,660,477		
		513,000	206,000	111,000	0	795,000	0	188,523	1,813,523		

4 大規模開発協力基礎調査団派遣費

上: 概算受入額
中: 支出実績額
下: 返納額 (単位: 円)

No	プロジェクト名	調査旅費	現地調査費	資機材 購送費	機材 供与費	報告書 作成費	技術費	附帯費	計	ページ
2	タイ王国 省エネルギープロジェクト開発計画調査	12,473,000	648,000	289,000	0	8,715,000	60,655,000	456,000	83,236,000	
		11,525,363	71,049	19,350	0	8,593,000	60,655,000	17,290	80,881,052	
		947,637	576,951	269,650	0	122,000	0	438,710	2,354,948	
15	インドネシア共和国 ルンブール地熱開発計画調査	927,000	151,000	0	0	5,340,000	24,204,000	270,000	30,892,000	
		451,000	0	0	0	5,340,000	24,204,000	60,827	30,055,327	
		476,000	151,000	0	0	0	0	209,673	836,673	
16	タイ王国 サンカンバン地熱開発計画調査	1,825,000	196,000	10,000	0	6,635,000	66,384,000	878,000	75,928,000	
		1,330,530	32,922	0	0	6,635,000	65,817,000	412,546	74,227,998	
		494,470	163,078	10,000	0	0	567,000	465,454	1,700,002	
17	フィリピン共和国 アクバン・イトゴン地熱開発計画調査	8,906,000	6,950,000	10,558,000	0	3,500,000	69,603,000	270,000	99,787,000	
		8,894,217	6,629,955	10,548,000	0	3,500,000	68,958,000	211,800	98,641,472	
		11,783	420,045	10,000	0	0	645,000	58,700	1,145,528	
18	アルゼンティン共和国 ネウケン州北部地熱開発計画調査(一次)	2,144,000	156,000	0	0	5,420,000	32,412,000	280,000	40,412,000	
		998,000	0	0	0	5,420,000	32,412,000	186,241	39,016,241	
		1,146,000	156,000	0	0	0	0	93,759	1,395,759	
25	ドミニカ共和国 ユナ川水力発電開発計画調査	11,639,000	7,507,000	2,609,000	0	6,642,000	118,305,000	300,000	147,002,000	
		10,468,142	7,165,506	2,516,000	0	6,642,000	118,140,000	12,470	144,944,118	
		1,170,858	341,494	93,000	0	0	165,000	287,530	2,057,882	
26	フィリピン共和国 マツノ川開発計画調査	2,945,000	740,000	0	0	12,363,000	64,568,000	677,000	81,293,000	
		2,233,108	626,824	0	0	8,914,000	64,235,000	111,790	76,120,722	
		711,892	113,176	0	0	3,449,000	333,000	565,210	5,172,278	
29	インドネシア共和国 コタバンジャン水力発電開発計画調査	5,327,000	4,948,000	0	0	6,220,000	20,512,000	341,000	37,348,000	
		5,232,317	4,368,873	0	0	6,220,000	20,512,000	183,204	36,516,394	
		94,683	579,127	0	0	0	0	157,796	831,606	
35	スワジランド王国 ルブク石炭開発計画事前調査	4,776,000	389,000	110,000	0	250,000	0	150,000	5,675,000	
		4,779,995	263,448	87,650	0	0	0	28,780	5,159,873	
		△ 3,995	125,552	23,350	0	250,000	0	121,220	515,127	
37	トルコ共和国 ベシュコナック水力発電開発計画調査	3,316,000	408,000	141,000	0	5,670,000	6,105,000	334,000	15,974,000	
		2,897,385	133,667	141,000	0	5,670,000	6,105,000	175,378	15,122,330	
		418,615	274,433	0	0	0	0	158,622	851,670	
38	中華人民共和国 西江水力発電開発計画調査	3,333,000	734,000	100,000	0	7,764,000	76,796,000	580,000	89,307,000	
		3,138,008	471,362	61,000	0	7,764,000	76,620,000	459,116	88,513,486	
		194,992	262,638	39,000	0	0	176,000	120,884	793,514	
60	ヴェネズエラ メキシコ 中南米(ヴェネズエラ・メキシコ)地熱開発計画予備調査	4,424,000	893,000	30,000	0	300,000	4,657,000	40,000	10,344,000	
		4,228,222	709,612	18,270	0	182,000	4,247,000	0	9,385,104	
		195,778	183,388	11,730	0	118,000	410,000	40,000	958,896	
64	アルゼンティン共和国 ネウケン州北部地熱開発計画調査(第二次)	21,831,000	25,165,000	33,259,000	20,200,000	0	43,299,000	677,000	144,431,000	
		18,300,233	24,241,370	34,279,891	19,353,700	0	43,299,000	42,891	139,517,085	
		3,530,767	923,630	△ 1,020,891	846,300	0	0	634,109	4,913,915	

上：概算受入額
中：支出実績額
下：返納額 (単位：円)

No	プロジェクト名		調査経費	現地調査費	資機材購送費	機材供与費	報告書作成費	技術費	附帯費	計	ページ
61	スワジランド王国	ルブク石炭開発計画調査	10,072,000	2,609,000	50,864,000	67,000,000	255,000	35,062,000	351,000	166,213,000	
			10,074,480	1,785,838	38,254,320	39,458,400	215,000	29,832,000	77,670	119,697,708	
			△ 2,480	823,162	12,609,680	27,541,600	40,000	5,230,000	273,330	46,515,292	
66	ペルー共和国	エネ川水力発電開発計画予備調査	2,518,000	680,000	30,000	0	300,000	0	120,000	3,648,000	
			2,517,562	541,671	0	0	180,000	0	3,000	3,242,233	
			438	138,329	30,000	0	120,000	0	117,000	405,767	
69	タイ王国	サンカンベン地熱開発計画調査(第二次)	1,918,000	1,926,000	146,745,000	122,000,000	700,000	10,945,000	290,000	284,624,000	
			1,918,000	1,742,000	164,927,244	87,334,000	700,000	10,945,000	227,723	267,793,967	
			0	184,000	△ 18,182,244	34,666,000	0	0	62,277	16,730,033	
81	メキシコ合衆国	ラ・プリマベラ地熱開発計画事前調査	2,065,000	571,000	20,000	0	0	2,563,000	87,000	5,306,000	
			2,043,735	439,395	19,390	0	0	2,563,000	4,300	5,069,820	
			21,265	131,605	610	0	0	0	82,700	236,180	
82	コスタリカ共和国	石炭開発計画事前調査	2,361,000	500,000	92,000	0	0	963,000	87,000	4,003,000	
			2,306,270	297,543	91,500	0	0	963,000	3,000	3,661,313	
			54,730	202,457	500	0	0	0	84,000	341,687	
90	ペルー共和国	エネ川水力発電開発計画マスタープラン作成事前調査	5,026,000	1,595,000	500,000	0	0	4,622,000	252,000	11,995,000	
			4,953,452	1,524,699	0	0	0	4,358,000	16,750	10,852,901	
			72,548	70,301	500,000	0	0	264,000	235,250	1,142,099	
小計			107,826,000	56,766,000	245,357,000	209,200,000	70,074,000	641,655,000	6,440,000	1,337,318,000	
			98,290,019	50,945,634	250,963,615	146,146,100	65,975,000	633,865,000	2,233,776	1,248,419,144	
			9,535,981	5,820,366	△ 5,606,615	63,053,900	4,099,000	7,790,000	4,206,224	88,898,856	

上：概算受入額
中：支出実績額
下：返納額 (単位：円)

5 フォローアップ調査経費

No	プロジェクト名		調査経費	現地調査費	資機材購送費	機材供与費	報告書作成費	技術費	附帯費	計	ページ
40		鉱工業プロジェクトフォローアップ調査	4,386,000	891,000	30,000	0	600,000	6,606,000	210,000	12,723,000	
			4,309,710	587,624	16,550	0	758,000	6,606,000	6,600	12,284,484	
			76,290	303,376	13,450	0	△ 158,000	0	203,400	438,516	
小計			4,386,000	891,000	30,000	0	600,000	6,606,000	210,000	12,723,000	
			4,309,710	587,624	16,550	0	758,000	6,606,000	6,600	12,284,484	
			76,290	303,376	13,450	0	△ 158,000	0	203,400	438,516	

6 大型技術協力事業費

上：概算受入額
中：支出実績額
下：返納額 (単位：円)

No	プロジェクト名		調査旅費	現地調査費	資機材 購送費	機材 供与費	報告書 作成費	技術費	附帯費	計	ページ
75	サウディ・アラビア王国	海水淡水化技術協力計画(研究開発)	1,634,000	262,000	10,000	0	1,400,000	13,111,000	285,000	16,702,000	
			0	0	0	0	1,089,000	13,111,000	0	14,200,000	
			1,634,000	262,000	10,000	0	311,000	0	285,000	2,502,000	
小計			1,634,000	262,000	10,000	0	1,400,000	13,111,000	285,000	16,702,000	
			0	0	0	0	1,089,000	13,111,000	0	14,200,000	
			1,634,000	262,000	10,000	0	311,000	0	285,000	2,502,000	

合計			410,549,000	161,465,000	310,021,000	268,428,000	172,710,000	1,803,757,000	36,929,000	3,163,859,000	
			384,257,888	132,625,195	307,846,308	204,816,100	157,512,091	1,790,611,000	14,141,334	2,991,809,825	
			26,280,112	28,850,805	2,174,692	63,611,900	15,197,999	13,146,000	22,787,666	172,049,175	

IV 昭和58年度実施調査の種類・現地調査期間コンサルタント一覧表

プロジェクト名	項目	新規 継続 の別	調査の種類				現地調査		調査業務契約者名 (契約提供契約者氏名)
			予備調査	事前調査	本格調査	P/P	P/P	人数	
1	シンガポール環境影響調査(大気)	継		○			4	(58.5.29~58.6.6)	出産業公害防止協会
2	タイ・省エネルギー開発計画	"		○			19	58.6.25~58.7.30 58.7.24~58.8.31 58.8.13~58.9.21	財省エネルギーセンター
3	アルゼンティン・補産肥料計画	"		○			7	58.5.21~58.6.19	ユニコインターナショナル 日産エンジニアリング㈱
4	タイ・ポイリッシュムール利用セメント工場建設	"		○			4	58.7.31~58.8.6	小野田エンジニアリング㈱ テクノコンサルタンツ㈱
5	ベルギー・PVC工場建設計画	新	○						
6	"	継		○			11	58.6.8~58.7.16 (58.12.5~58.12.18)	テクノコンサルタンツ㈱
7	エクアドル・紙パルプ工場建設計画	"		○					本州製紙㈱
8	中国・工場近代化(メカニズム・スピーカー)	"		○			3	(58.7.28~58.7.29)	㈱日本電子機械工業会
9	" (プラスチック)	"		○			3	(58.6.21~58.6.27)	㈱東日本プラスチック成形工業協会
10	" (ポリバリコン)	"		○			6	58.5.15~58.6.5 (58.10.11~58.10.17)	㈱日本電子機械工業会
11	" (家具)	"		○			4	58.6.15~58.7.12 (58.11.28~58.12.7)	㈱高橋家具産業振興会
12	" (光学機器)	"		○			5	58.6.20~58.7.12 (58.11.28~58.11.29)	㈱日本分析機器工業会
13	" (ガラス)	"		○			5	58.7.11~58.7.31 (58.12.12~58.12.18)	㈱日本硝子製品工業会
14	インドネシア・砂糖副産物利用工業	"		○			4	(58.5.30~58.6.5)	協和発酵工業㈱ ㈱日本アブラント協会
15	インドネシア・ルンブール地熱開発	"		○			1	(58.7.24~58.7.30)	西日本技術開発㈱
16	タイ・サンカンベン地熱開発	"		○			3	58.6.15~58.6.24 (58.10.17~58.10.23)	共同企業体(日本電化学工業㈱、日産エンジニアリング㈱、三井金属鉱業開発㈱)
17	フィリピン・アクバン・イトゴン地熱開発	"		○			15	58.9.28~58.12.23 59.1.22~59.2.15	大平開発㈱
18	アルゼンティン・ネウケアン州北地熱開発(一次)	"		○			1	(58.8.20~58.8.29)	日産開発㈱
19	シンガポール・環境影響調査(粉じん)	新	○				2	58.6.1~58.6.7	
20	アルジェリア・海水淡水化計画	継		○			8	58.6.4~58.6.13 (58.7.28~58.8.6)	共同企業体(財団法人促進センター、日産㈱)
21	"	"		○					
22	フィリピン・活性炭工業振興計画	"		○					クラレケミカル㈱
23	ベルギー・アリエコーク水力発電開発	"		○			5	58.7.15~58.8.13 (58.11.28~58.12.13)	電源開発㈱
24	インドネシア・ルンブール水力発電開発	"		○			11	58.7.7~58.10.4 59.2.15~59.3.15 (58.8.15~58.9.26)	日本工営㈱

項目	新発 継続 の別	調査の種類				現地調査		調査業務契約者名 (役務提供者氏名)
		予備調査	事前調査	P / F	F / V	人	期間 (報告書説明)	
プロジェクト名								
25 ドミニカ・ユナ川水力発電開発	続		○			10	58.5.30~58.8.20 (59.3.11~59.3.19)	日本工営㈱
26 フィリピン・マツノ川開発	"		○			7	58.7.13~58.7.21 (58.12.1~58.12.10)	日本工営㈱
27 ケニア・ソンドラ川水力発電開発	新		○			6	58.10.18~58.11.5	㈱IINA新土木研究所 (山川第一) (森田 悠)
28 マレーシア・チカイ川水力発電開発	続		○			2	(58.7.20~58.7.29)	兵衛設計㈱
29 インドネシア・コクバンジャン水力発電開発	"		○			7	58.6.27~59.3.11 (59.2.12~59.2.19)	兵衛設計㈱
30 中国-工場近代化(器具・ガラス・光学機器)	新		○					
31 調査調査資料整備事業	"							㈱国際協力サービスセンター
32 調査事業の計画・決定・管理のための附帯業務	"							
33 エジプト・火力発電開発計画	続		○			13	58.5.24~58.7.7 58.11.30~58.12.14	西日本技術開発㈱
34 フィリピン・活世炭工業振興開発	"		○			18	58.11.6~58.11.10 59.1.5~59.3.6 59.2.6~59.3.6	㈱日本プラント協会 北越炭業工業㈱
35 スワジランド・ルブク石炭開発	新		○			3	58.6.24~58.7.9	
36 フィリピン・レイテ・ミングナマダ電線開発	続		○			17	58.6.14~58.8.12 58.10.22~58.10.22 (59.2.22~59.3.7)	共同企業体(電源開発㈱、日本工 営㈱)
37 トルコ・ベシムコナック水力発電開発	"		○			3	(58.7.24~58.8.7)	電源開発㈱
38 中国・紅江水力発電開発	"		○			9	58.7.3~58.7.16 (58.11.13~58.11.26)	電源開発㈱
39 クイ・ナムヤム水力発電開発	"		○			6	58.6.12~58.6.23 58.11.7~58.11.30 (59.1.24~59.2.2)	電源開発㈱
40 鉱工業プロジェクト・フェローアップ調査	新			○		5	58.8.28~58.9.16	三菱総合研究所㈱(吉田 肇之)
41 グアタマラ・製油所建設計画	"		○			4	58.7.11~58.7.29	日 揮㈱
42 タイ・金属加工業振興計画	"		○			4	58.9.5~58.9.14	㈱海外コンサルティング企業協会
43 イタリコ・産物資源物処理	"		○			4	58.6.26~58.7.3	㈱日本プラント協会(磯崎 隆)
44 コロンビア・アトラート河水力発電開発	続		○			4	58.11.12~58.12.11 59.2.18~59.3.18	電源開発㈱
45 ASEAN諸国鉱工業プロジェクト選定調査	"			○		4	58.6.26~58.7.2 58.7.2~58.7.9 58.7.19~58.7.27	
46 ホバール・尿素肥料工場建設	新		○			4	58.9.25~58.10.6	昭和テクノシステム㈱ (木村 博)
47 トンガ・情報処理システム開発	"		○			4	58.8.6~58.8.18	㈱英彦情報センター(小西祐成)
48 シンガポール環境影響調査(粉じん)	続		○			14	58.11.23~58.12.25 59.2.27~59.3.25	㈱産業公害防止協会
49 フィリピン・サンロケ水力発電開発	新		○			5	58.7.27~58.8.5	

プロジェクト名	新発 継続 の別	調査の種類			現地調査		調査実施約者名 (投資提供契約者氏名)
		予備調査	本格調査	P / P	人 数	期間 (報告書説明)	
50	新	○			5	58.7.27～58.8.11	例新エネルギー財団(中添次郎) 電源開発(阿部信)
51	"	○			5	58.8.24～58.9.8	例日本鉄道建設 戸田弘元 (田島達夫)
52	"			○	1	58.8.22～58.8.28	
53	続		○		9	58.11.12～58.12.4	三洋油化エンジニアリング(株)
54	"		○		11	58.10.1～58.10.12 58.11.7～58.8.29 59.3.22～59.3.29	日鉱探検(株)
55	"		○		6	58.11.26～58.12.24	三井物産開発(株)
56	新	○			4	58.10.8～58.10.27	日鉱エンジニアリング(株) (海野 雄) (宇野 啓)
57	"	○			5	58.11.16～58.11.25	例日本プラント協会(角田啓彦) 全国石油工業協同組合(野上周二)
58	"	○			4	58.10.17～58.10.24	
59	"			○	4	58.10.30～58.11.12	例海外コンサルティング企業協会 (田辺雄行)
60	続		○		3	59.1.17～59.1.25 59.3.21～59.3.29	共同企業体(例綜合興物センター、 石川島播磨重工業(株))
61	新		○		6	58.11.22～59.3.7	住友石炭(株)
62	"	○			6	58.12.14～58.12.28	例炭素工業協会(大野 明) 例日本電子工業振興協会(柳谷啓助) 例トングテック(川崎 薫)
63	続		○		7	59.1.8～59.2.5	共同企業体(ユニコインタナシヨ ナル(株)、例日本プラント協会)
64	"		○		22	58.11.21～58.12.20 58.12.8～58.12.20 59.2.1～59.3.21	日鉱探検(株)
65	新	○			5	58.12.8～58.12.24	北電機(株) (海田 正) (野田恒夫)
66	"	○			3	58.11.29～58.12.10	
67	"	○			5	58.11.29～58.12.8	例日本政府開発(株) (佐藤文雄) (中島啓吾)
68	"	○			5	58.12.10～58.12.20	例工業(株)(木島二郎) 例ジェーシーシー(武谷川恒夫)
69	続		○		3	59.1.10～59.2.8	共同企業体(日本重化学工業(株)、日 産電コンサルタント(株)、三井金属 探検(株))
70	"		○		15	59.1.22～59.3.28	日本工務(株)
71	新	○			4	58.12.21～58.12.28	例日本プラント協会(小林誠也)
72	続		○		7	59.2.19～59.3.17	ユニコインタナシヨナル(株) 千代田化工建設(株)
73	"	○			4	59.2.9～59.3.9 (59.3.4～59.3.9)	例新日本技術コンサルタント
74	"		○		15	59.2.8～59.3.3	共同企業体(例水道促進センター、 例神戸製鋼所)

プロジェクト名	項目	新規継続の別	調査の種類			現地調査		調査契約者名 (役務提供契約者氏名)
			予備調査	事前調査	本格調査	人	期間 (報告書説明)	
75	サブディ・アラビヤ海水淡水化(研究開発)	続		○				御海促進センター
76	インドネシア・バンコ放荷効利用計画	新	○			7	59. 2. 20 ~ 59. 3. 4	例 日本エネホルム-経済研究所
77	インドネシア・プラント機器製造促進政策	"	○			4	59. 2. 12 ~ 59. 2. 18	例 エンジニアリング振興協会(飯山徹) 例 海外コンサルティング企業協会 (田辺興行)
78	クンザニア・グルエスサラム送配電網	"	○			5	59. 2. 18 ~ 59. 3. 1	八千代エンジニアリング(株) (五十嵐 貞雄) (高井 第一郎)
79	中国・工機近代化(ボールドベンインキ)	続		○		4	59. 3. 15 ~ 59. 3. 28	例 トンボ鉛筆
80	インドネシア・プラントリノベーション (紙パルプ)	"		○		10	59. 2. 26 ~ 59. 3. 27	本州製紙(株)
81	メキシコ・ラ・プリマベラ地帯開発	新	○			4	59. 2. 20 ~ 59. 3. 1	例 新エネホルム-財団(中森初太郎) 電通開発(株)(阿部 信)
82	コスタリカ・石炭開発計画	"	○			4	59. 2. 28 ~ 59. 3. 10	松尾技術士事務所(松尾敏英)
83	インドネシア・第2製鉄所建設計画	続	○			6	59. 3. 4 ~ 59. 3. 14	例 日本鉄鋼連盟 (戸田弘元、井上清彦、日野敏久)
84								
85	フィリピン・プラントリノベーション(ルン ン高速電網)	新	○			8	59. 1. 25 ~ 59. 1. 31	北電興業(株)(柳澤喜紀)
86	インドネシア・プラントリノベーション(荷 性ソーダ)	"	○			4	59. 2. 26 ~ 59. 3. 4	個人コンサルタント(八幡純正)
87	中国・工機近代化(制御用流素子)	続		○		5	59. 3. 1 ~ 59. 3. 18	例 日本電子工業振興協会
88	" (計器・サイレン)	新	○			5	59. 3. 14 ~ 59. 3. 22	ユニコインコーポラル(株)(渡辺保彦) 三菱化成エンジニアリング(株) (堀尾利雄)
89	エクアドル・代官エネホルム-開発計画	"	○			6	59. 3. 16 ~ 59. 3. 25	例 新エネホルム-財団(中森初太郎) 日本工営(株)(菊原澄雄)
90	ペルー・エネ河水力発電開発(マスクープラン)	"	○			6	59. 3. 10 ~ 59. 3. 25	例 西日本技術開発(株) (若月前 矢野英男) 例 建設技術研究所(八江 敏)
91	タイ・南バンコク火力発電所リノベーション	"	○			5	59. 3. 21 ~ 59. 3. 30	例 西日本技術開発(株) (木原利雄) (有吉和利)

国名		シンガポール共和国				
プロジェクト名		和	シンガポール共和国石炭火力発電所及び一貫製鉄所設立に係る環境への影響調査(大気調査)			
		外	The Study of Environmental Effects of Coal Firing Power Stations & Integrated Steel Mill in the Republic of Singapore (Air-quality)			
調査団	団長	氏名	稲垣 喜八		総支出経費	6,012,890 円
		所属	(社) 産業公害防止協会		調査の種類	本格
	調査団員数	4 名		計画申請	58 年 4 月 11 日 国協(総計)第 3-101 号	
	現地調査期間			計画承認	58 年 6 月 24 日 58 通第 951 号	
	報告書説明期間	58.5.29~58.6.5		調査完了日	58 年 8 月 31 日	
使用コンサルタント名		(社) 産業公害防止協会 (業務実施契約)		担当	工業調査課 佐藤 よし江	

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

本件調査の目的は、現状における「シ」国のSO₂環境濃度を把握し、これらデータと別に収集した現状及び将来における発生源資料を用いSO₂拡散シミュレーションを行い、石炭火力発電所及び一貫製鉄所立地後における環境への影響予測を行うことである。

本件調査は昭和56年度から1年間(56.7.15~57.7.14)SO₂環境濃度、日射量、放射線量、気温について測定を行ってきた。本年度はその結果に基づき作成されたドラフト・レポートの現地説明を行い最終報告書の作成・送付をもって本件大気調査業務を完了した。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

現状における「シ」国のSO₂環境濃度は他の工業先進国に比べてみて許容範囲内にあり、また1990年次に新規工場が稼働する将来においても、現状に比べて2倍程度高くなるが、これもまだ許容範囲内の濃度と思われる。

(3) その他(今後の見通し等)

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位：円)

区	分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等運送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合計
① 計 画 額	事業団直営分	495,000	90,000	0	0	0	0	291,000	876,000
	コンサル契約分	1,282,000	0	0	0	3,100,000	1,395,000	0	5,777,000
	計	1,777,000	90,000	0	0	3,100,000	1,395,000	291,000	6,653,000
② 変更・費用類	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
③ 変更・費用後類	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
④ 支出実績額	事業団直営分	494,115	0	0	0	0	0	96,775	590,890
	コンサル契約分	1,282,000	0	0	0	2,745,000	1,395,000	0	5,422,000
	計	1,776,115	0	0	0	2,745,000	1,395,000	96,775	6,012,890
⑤ 差引額 (①又は③-④)	事業団直営分	885	90,000	0	0	0	0	194,225	285,110
	コンサル契約分	0	0	0	0	355,000	0	0	355,000
	計	885	90,000	0	0	355,000	0	194,225	640,110

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	①契約締結額	② 変 更 額	③契約変更後額	④支出実績額	⑤ 差 引 額 (①-④)
社) 産 業 公 害 防 止 協 会	5,422,000	0	0	5,422,000	0

国名		タイ王国				
プロジェクト名		和	タイ王国省エネルギープロジェクト開発計画調査			
		外	The Study on the Energy Conservation Project in the Kingdom of Thailand			
調査団	団長	氏名	新倉 隆		総支出経費	80,881,052 円
		所属	(財) 省エネルギーセンター		調査の種類	本格
	調査団員数	19 名		計画申請	58 年 4 月 11 日	国協(総計)第 3-108 号
	現地調査期間	58. 6. 26 ~ 58. 7. 30 (7名) 59. 1. 22 ~ 59. 1. 27 (2名) 59. 3. 4 ~ 59. 3. 21 (7名)		計画承認	58 年 5 月 25 日	58 通第 952 号
	報告書説明期間	59. 1. 18 ~ 59. 1. 27 (3名) (中間報告書説明)		調査完了日	59 年 3 月 31 日	
使用コンサルタント名		(財) 省エネルギーセンター (業務実務契約)		担当	工業調査課 中井 信也	

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

目的：タイ王国の製造業におけるエネルギー使用実態を把握し、業種毎の「エネルギー使用合理化判断基準(案)」を作成するとともに省エネルギー推進のための「諸策」の提言を行う。

内容：食品、プラスチック/化学、紙、窯業/ガラス、金属、繊維の6業種55工場についてエネルギー診断を行うとともに、上記目的達成のために必要な情報、資料の入手等を実施する。

58年度は、第3次エネルギー診断と第4次現地調査を実施した。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

- 1 「エネルギー管理の状況」「省エネルギー推進上の問題点」について整理
- 2 熱管理、電力管理の問題点整理
- 3 改善目標と予想改善効果についてのとりまとめ

(3) その他(今後の見通し等)

業種毎の「エネルギー使用合理化判断基準(案)」及び「諸策」を作成し、報告書としてとりまとめる。

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位：円)

区	分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等運送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合計
① 計 画 額	事業団直営分	1,724,000	162,000	40,000	0	0	0	456,000	2,382,000
	コンサル契約分	10,749,000	486,000	249,000	0	8,715,000	60,655,000	0	80,854,000
	計	12,473,000	648,000	289,000	0	8,715,000	60,655,000	456,000	83,236,000
② 変更・採用額	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
③ 変更・採用後額	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
④ 支出実績額	事業団直営分	776,363	54,049	19,350	0	0	0	17,290	867,052
	コンサル契約分	10,749,000	17,000	0	0	8,593,000	60,655,000	0	80,014,000
	計	11,525,363	71,049	19,350	0	8,593,000	60,655,000	17,290	80,881,052
⑤ 差引額 (①-④)	事業団直営分	947,637	107,951	20,650	0	0	0	438,710	1,514,948
	コンサル契約分	0	469,000	249,000	0	122,000	0	0	840,000
	計	947,637	576,951	269,650	0	122,000	0	438,710	2,354,948

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	① 契約締結額	② 変更額	③ 契約変更後額	④ 支出実績額	⑤ 差引額 (①-④)
財) 省エネルギーセンター	80,854,000	0	0	80,014,000	840,000

国名		アルゼンチン共和国			
プロジェクト名		和	アルゼンチン共和国磷肥料計画調査		
		外	The Feasibility Study on the Establishment of a Phosphate Fertilizer Plant in the Argentine Republic		
調査団	団長	氏名	桑原 誠	総支出経費	71,190,460 円
		所属	ユニコインターナショナル株式会社	調査の種類	本格
		調査団員数	7 名	計画申請	58 年 4 月 11 日 国協(鉱計)第 3-109 号
		現地調査期間	58.5.21~58.6.19	計画承認	58 年 5 月 20 日 58 通第 953 号
		報告書説明期間		調査完了日	59 年 3 月 31 日
使用コンサルタント名		ユニコインターナショナル株式会社 (業務実務契約) 日鉱エンジニアリング株式会社		担当	工業調査課 香川 敬三

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

本件は、磷鉱石を含んだ尾鉱を利用する磷酸系肥料工場の建設計画である。このため調査団を派遣し同国関係機関（FM・HIPASAM）との協議、現地調査及び国内作業を通じて技術的経済的及び財務的観点から企業化可能性調査を実施するものである。

調査内容はプロジェクトの背景、関連事情調査、市場流通機構、原料分析、サイト調査、生産品目の決定、概念設計、環境対策、建設コスト、財務分析、経済、社会評価、結論、勧告を実施する。

(2) 結論及び勧告（調査結果）

本件は58年12月に報告書説明を実施する予定であったが、原料である尾鉱の磷含有量が予想以下であったこと、鉄との分離が鉱石の特殊性から困難であったことにより更に追加分析が必要となり6カ月間の調査期間延長をすることとなった。

現在追加分析結果を踏まえつつ、国内分析作業中である。

(3) その他（今後の見通し等）

59年6月初旬に報告書説明を予定している。

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位:円)

区	分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等運送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合計
① 計 画 額	事業団直営分	1,041,000	157,000	10,000	0	0	0	406,000	1,614,000
	コンサル契約分	12,565,000	1,595,000	0	0	3,860,000	52,514,000	0	70,534,000
	計	13,606,000	1,752,000	10,000	0	3,860,000	52,514,000	406,000	72,148,000
② 変 更 額	事業団直営分	△ 1,041,000	△ 157,000	△ 10,000	0	0	0	△ 250,000	△ 1,458,000
	コンサル契約分	△ 3,102,000	△ 60,000	0	0	△ 3,860,000	8,147,000	0	1,125,000
	計	△ 4,143,000	△ 217,000	△ 10,000	0	△ 3,860,000	8,147,000	△ 250,000	△ 333,000
③ 変 更 後 額	事業団直営分	0	0	0	0	0	0	156,000	156,000
	コンサル契約分	9,463,000	1,535,000	0	0	0	60,661,000	0	71,659,000
	計	9,463,000	1,535,000	0	0	0	60,661,000	156,000	71,815,000
④ 支 出 実 績 額	事業団直営分	0	0	0	0	0	0	8,460	8,460
	コンサル契約分	9,463,000	1,078,000	0	0	0	60,641,000	0	71,182,000
	計	9,463,000	1,078,000	0	0	0	60,641,000	8,460	71,190,460
⑤ 差 引 額 (③-④)	事業団直営分	0	0	0	0	0	0	147,540	147,540
	コンサル契約分	0	457,000	0	0	0	20,000	0	477,000
	計	0	457,000	0	0	0	20,000	147,540	624,540

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	①契約時結額	② 変 更 額	③契約変更後額	④支出実績額	⑤ 差 引 額 (③-④)
共 同 企 業 体 ユニコインターナショナル 日 経 エ ン ジ ニ ア リ ン グ	70,534,000	1,125,000	71,659,000	71,182,000	477,000

国名	タイ王国			
プロジェクト名	和	タイ王国MAE-SOT地区産オイルシェール利用セメント工場建設計画調査		
	外	The Peasibility Study on the Establishment of Integrated Power & Cement Factory Using Oil Shale in Mae-Sot Area, The Kingdom of Thailand.		
調査団	氏名	鳥谷 良	総支出経費	24,856,574 円
	所属	小野田エンジニアリング㈱	調査の種類	本 格
	調査団員数	4 名	計画申請	58 年 4 月 11 日 国協(総計)第 3-110 号
	現地調査期間		計画承認	58 年 5 月 25 日 58 通第 954 号
	報告書説明期間	58.7.31~58.8.6	調査完了日	58 年 10 月 31 日
使用コンサルタント名	小野田エンジニアリング㈱テクノコンサルタンツ㈱ (業務実施契約)		担 当	工業調査課 香川 敏 三

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

MAE-SOT 地区に産出するオイルシェールを直接燃焼して発電を行い工場内電力を供給するとともにその燃焼残灰をセメント原料として利用しようとするものであり、オイルシェールの効率的利用を目的としている。

調査の内容は57年度に実施した現地調査に引き続き国内解析を実施した。

- ①市場 ②電力 ③原料 ④自然条件 ⑤用役インフラ ⑥サイト ⑦プロセス
⑧工場設計 ⑨廃棄物処理 ⑩組織委員計画 ⑪建設計画 ⑫所要資金 ⑬環境調査 ⑭財務分析 ⑮経済分析 ⑯結論勧告

(2) 結論及び勧告(調査結果)

市場、原料、燃料、電力、インフラ等の現状と大幅に変わらないこと、借入金が70%、長期借入金10%、12年で返還などの条件を前提にもとづいて検討した結果、経済的內部収益率は21.4%であり、タイ国内のカットオフレートに比し高率であることから総合的に判断した結果フィージブルと結論される。

(3) その他(今後の見通し等)

本調査結果はタイ国政府のオイルシェール委員会で検討され資金の面から内部で調整中である。

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位:円)

区	分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等運送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合計
① 計 画 額	事業団直営分	394,000	45,000	10,000	0	0	0	333,000	782,000
	コンサル契約分	1,547,000	72,000	0	0	4,387,000	18,664,000	0	24,670,000
	計	1,941,000	117,000	10,000	0	4,387,000	18,664,000	333,000	25,452,000
② 変更・費用類	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
③ 変更・費用後類	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
④ 支出実績額	事業団直営分	0	0	0	0	0	0	210,574	210,574
	コンサル契約分	1,547,000	48,000	0	0	4,387,000	18,664,000	0	24,646,000
	計	1,547,000	48,000	0	0	4,387,000	18,664,000	210,574	24,856,574
⑤ 差 引 額 (①-④)	事業団直営分	394,000	45,000	10,000	0	0	0	122,426	571,426
	コンサル契約分	0	24,000	0	0	0	0	0	24,000
	計	394,000	69,000	10,000	0	0	0	122,426	595,426

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	① 契約時結額	② 変更額	③ 契約変更後額	④ 支出実績額	⑤ 差引額 (①-④)
具同企業体代表者テクノコンサルタンツ㈱	24,670,000	0	0	24,646,000	24,000

国名		ペルー共和国		
プロジェクト名		和	ペルー共和国PVC工場建設計画事前調査	
		外	The Preliminary Survey on the Development of PVC in Paramonga, Republic of Peru	
調査団	氏名		総支出経費	92,000 円
	所属		調査の種類	事前
	調査団員数		計画申請	58年4月11日 国協(総計)第3-111号
	現地調査期間		計画承認	58年5月25日 58通第955号
	報告書説明期間		調査完了日	58年6月30日
使用コンサルタント名			担当	工業調査課 香川 敬三

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

本プロジェクトはペルー国に豊富に賦存する石灰石と同国のパラモンガ総合化学会社(SPL:国営)で製造される塩素を利用して、ポリ塩化ビニール(PVC)を製造するための工場建設計画であり、昭和58年1月本格調査のための事前調査を実施した。

当年度は当該事前調査の結果を報告書として印刷するものである。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

57年度に実施した事前調査の報告書を作成した。

(3) その他(今後の見通し等)

58年6月より本格調査を開始する。

(単位:円)

区	分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等運送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合計
① 計 画 類	事業団直営分	0	0	0	0	300,000	0	0	300,000
	コンサル契約分	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	300,000	0	0	300,000
② 変更・活用類	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
③ 変更・活用後類	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
④ 支出実績類	事業団直営分	0	0	0	0	92,000	0	0	92,000
	コンサル契約分	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	92,000	0	0	92,000
⑤ 差 引 類 (①-④)	事業団直営分	0	0	0	0	208,000	0	0	208,000
	コンサル契約分	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	208,000	0	0	208,000

国名		ペルー共和国				
プロジェクト名		和	ペルー共和国PVC工場建設計画調査			
		外	The Feasibility Study on the Development of PVC in Poramonga, Republic of Peru			
調査団	団長	氏名	田中恒二		総支出経費	55,881,825 円
		所属	テクノコンサルタンツ㈱		調査の種類	本格
	調査団員数	11 名		計画申請	58 年 4 月 11 日	国協(総計)第 3-112 号
	現地調査期間	58. 6. 3 ~ 58. 7. 16 (7名)		計画承認	58 年 5 月 25 日	58 通第 956 号
	報告書説明期間	58. 12. 5 ~ 58. 12. 13 (4名)		調査完了日	59 年 3 月 31 日	
使用コンサルタント名		テクノコンサルタンツ㈱ (業務実務契約)		担当	工業調査課 香川 敏三	

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

本プロジェクトはペルー国に豊富に賦存する石灰石と既存の電解プラントから生産される塩素を利用してアセチレン法によるPVC(ポリ塩化ビニール)の製造のための工場建設計画である。このため調査団を派遣し、同国関係機関を通じて技術的、経済的及び財務的観点からフィージビリティ調査を実施する。

(2) 調査の内容

- | | |
|---------------------|------------|
| ① プロジェクトの背景及び関連事情調査 | ⑥ 環境保護対策 |
| ② PVC市場と流通機構に関する調査 | ⑦ 建設コストの算出 |
| ③ 原料調査 | ⑧ 財務分析 |
| ④ プロジェクトサイトに関する調査 | ⑨ 経済、社会評価 |
| ⑤ プラント基本設計、概念設計 | ⑩ 結論、勧告 |

(2) 結論及び勧告(調査結果)

石灰石鉱山はバリアウンカを選定し、PVC生産能力は2.5万tが妥当と判断された。公害に関しては海中投棄している塩化水素を使用するため環境汚染を改善することになる。総所要資金は750万ドルと見積もられ設備にかかる輸入税が免除された場合FIRR on I(税引前)で16.8%の収益率である総合評価において条件を整えば技術・経済的に十分成り立つものからSPL、ペルー国にとって実施すべき計画である。

(3) その他(今後の見通し等)

ペルー国政府にて本計画の実施に関し調整中である。

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位：円)

区	分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等運送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合計
① 計 西 類	事業団直営分	810,000	179,000	10,000	0	0	0	406,000	1,405,000
	コンサル契約分	10,974,000	1,888,000	0	0	4,232,000	40,767,000	0	57,861,000
	計	11,784,000	2,067,000	10,000	0	4,232,000	40,767,000	406,000	59,266,000
② 変更・活用類	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
③ 変更・活用後類	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
④ 支出実績類	事業団直営分	0	0	0	0	0	0	151,825	151,825
	コンサル契約分	10,974,000	364,000	0	0	3,625,000	40,767,000	0	55,730,000
	計	10,974,000	364,000	0	0	3,625,000	40,767,000	151,825	55,881,825
⑤ 差引類 (①-④)	事業団直営分	810,000	179,000	10,000	0	0	0	254,175	1,253,175
	コンサル契約分	0	1,524,000	0	0	607,000	0	0	2,131,000
	計	810,000	1,703,000	10,000	0	607,000	0	254,175	3,384,175

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	① 契約締結類	② 変更類	③ 契約変更後類	④ 支出実績類	⑤ 差引類 (①-④)
テクノコンサルタンツ 株	57,861,000	0	0	55,730,000	2,131,000

国名		エクアドル共和国			
プロジェクト名		和	エクアドル共和国紙パルプ工場建設計画調査		
		外	The Feasibility Study on the Establishment of a Pulp & Paper Mill in the Republic of Ecuador		
調査団	団長	氏名		総支出経費	5,930,016 円
		所属		調査の種類	本格
	調査団員数		計画申請	58年4月11日	国協(紙計)第3-113号
	現地調査期間		計画承認	58年5月21日	58通第957号
		報告書説明期間		調査完了日	58年6月10日
使用コンサルタント名		本州製紙株式会社 (業務実施契約)		担 当	工業調査課 佐藤よし江

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

本件調査の目的は「エ」国エスメラルダス州、サン・ロレンスの国有林の熱帯混合広葉樹を活用して、同国の内需に対応する①段ボール原紙、②印刷・筆記用紙を生産するための紙・パルプ工場を建設し、③外貨の節約、④雇用の拡大、⑤製紙技術の発展を期するとともに、⑥エスメラルダス地方の経済開発に資せんとするものである。

本年度においては最終報告書の作成の送付をもって本件業務を完了した。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

本調査は生産製品をクラフト・ライナー、中芯原紙及び印刷、筆記用紙としてバージ建設方式と陸上建設方式の比較をおりまぜながら技術的財務的および経済的観点から総合評価を行ったがバージ建設方式による中芯原紙製造プラントがフィージブルと思われた。

(3) その他(今後の見通し等)

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位:円)

区 分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等運送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合 計
① 計 画 額	事業団直営分	0	0	0	0	0	340,000	340,000
	コンサル契約分	0	0	0	5,840,000	0	0	5,840,000
	計	0	0	0	5,840,000	0	340,000	6,180,000
② 変更・活用額	事業団直営分							
	コンサル契約分							
	計							
③ 変更・活用後額	事業団直営分							
	コンサル契約分							
	計							
④ 支出実績額	事業団直営分	0	0	0	0	0	151,016	151,016
	コンサル契約分	0	0	0	5,779,000	0	0	5,779,000
	計	0	0	0	5,779,000	0	151,016	5,930,016
⑤ 差 引 額 (①-④)	事業団直営分	0	0	0	0	0	188,984	188,984
	コンサル契約分	0	0	0	61,000	0	0	61,000
	計	0	0	0	61,000	0	188,984	249,984

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	①契約締結額	② 変 更 額	③契約変更後額	④支出実績額	⑤ 差 引 額 (①-④)
本 州 製 紙 特	5,840,000	0	0	5,779,000	61,000

国名	中華人民共和國			総支出経費	14,977,564 円	
プロジェクト名	和	中華人民共和國工場(メカニズム・スピーカー)近代化計画調査			調査の種類	本 格
	外	The Study for the Factories (Mechanism, Speaker) Modernization Program in the People's Republic of China				
調査団	氏名	今 本 正			計画申請	58 年 4 月 11 日 同協(総計)第 3-116 号
	所属	(社)日本電子機械工業会				
	調査団員数	3 名			調査完了日	58 年 11 月 30 日
	現地調査期間					
報告書説明期間	58.7.23~58.7.29					
使用コンサルタント名	(社)日本電子機械工業会 (業務実務契約)					

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

※

本件調査目的は天津地区における民生用電子工場に対し、工場診断を実施し、その結果に基づき既存設備の利用に重点を置いた生産管理と製造技術に関する近代化計画を提案することを目的とするものである。

本年度は昨年度実施した現地調査結果を踏まえて、ドラフト・レポートを作成し、現地説明の後、最終報告書を作成し、送付をもって本件業務を完了した。

※① 天津市津華無線電廠(ラジカセ用メカニズム)

② 電声器材廠

(2) 結論及び勧告(調査結果)

○無線電廠

生産規模(テレコ用メカニズム)

1984年 80万台/年 (第2段階)

1985年 150~200万台/年(第3段階)

総所要資金(第2、3段階)

1,815,600円('83年9月FOB価格)

○電声器材廠

生産規模(コーンスピーカ)

1986年 600万台/年(第1段階)

総所要資金 1,530,583,000円

(3) その他(今後の見通し等)

段階的導入とし海外を含めた先進技術の導入でもって対応する。

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位：円)

区	分	I 調査旅費	II 現場調査費	III 資機材等送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合 計
① 計 画 額	事業団直営分	0	0	0	0	0	0	507,000	507,000
	コンサル契約分	818,000	78,000	0	0	3,000,000	10,801,000	0	14,697,000
	計	818,000	78,000	0	0	3,000,000	10,801,000	507,000	15,204,000
② 変更・費用額	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
③ 変更・費用後額	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
④ 支出実績額	事業団直営分	0	0	0	0	0	0	412,564	412,564
	コンサル契約分	800,000	0	0	0	2,964,000	10,801,000	0	14,565,000
	計	800,000	0	0	0	2,964,000	10,801,000	412,564	14,977,564
⑤ 差 引 額 (①又は③-④)	事業団直営分	0	0	0	0	0	0	94,436	94,436
	コンサル契約分	18,000	78,000	0	0	36,000	0	0	132,000
	計	18,000	78,000	0	0	36,000	0	94,436	226,436

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	①契約締結額	② 変 更 額	③契約変更後額	④支出実績額	⑤ 差 引 額 (①-④)
社)日本電子機械工業会	14,682,000	0	0	14,565,000	117,000

国名	中華人民共和国			総支出経費	13,568,327 円	
プロジェクト名	和	中華人民共和国工場(プラスチック)近代化計画調査			調査の種類	本 格
	外	The Feasibility Study for the Factories (Plastics) Modernization Program in the People's Republic of China				
調査団	団長	氏名	中野 一	計画申請	58年4月11日 国協(策計)第3-118号	
		所属	(社)東日本プラスチック成形工業協会	計画承認	58年5月21日 58通第959号	
	調査団員数	3名	調査完了日	58年10月30日		
	報告書説明期間	58.6.21~58.6.27	担 当	工業調査課 中井信也		
使用コンサルタント名	(社)東日本プラスチック成形工業協会 (業務実施契約)					

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

本件調査目的は天津地区における[※]プラスチック工場に対し工場診断を実施し、その結果に基づき既存設備の利用に重点をおいた生産管理及び製造技術に関する近代化計画を提案することを目的とする。

本件調査は1982年11月25日署名の「中華人民共和国工場(民生用電子、プラスチック)近代化計画調査に関する合意書」に基づき実施するもので、本年度は昭和57年度実施した現地調査の結果に基づき近代化計画を提案しドラフトレポートにとりまとめ現地説明の後、最終報告書を作成、送付をもって本件業務を完了した。

※① 天津市第一塑料廠(フィルム、シート、貼合せ製品)

② * 第十四塑料製品廠(管、射出成形製品)

(2) 結論及び勧告(調査結果)

第一塑料廠

生産規模 フィルム製品 1984年 3000t/年(現2000t/y)
 シート製品 * 3000t/y (*)
 貼合せ製品 * 1000t/y (1983末まで500t/y)

所要経費: 773,957,000円

第十四塑料製品廠

生産規模 管 製品 1983年 2,900t
 射出成形製品 * 650t

所要経費: 571,222,000円

(3) その他(今後の見通し等)

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位:円)

区	分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等購送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合計
① 計 算 額	事業団直営分	0	0	0	0	0	0	484,000	484,000
	コンサル契約分	818,000	57,000	0	0	4,620,000	8,386,000	0	13,881,000
	計	818,000	57,000	0	0	4,620,000	8,386,000	484,000	14,365,000
② 変更・流用額	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
③ 変更・流用後額	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
④ 支出実績額	事業団直営分	0	0	0	0	0	0	116,327	116,327
	コンサル契約分	818,000	26,000	0	0	4,222,000	8,386,000	0	13,452,000
	計	818,000	26,000	0	0	4,222,000	8,386,000	116,327	13,568,327
⑤ 差引額 (①-④)	事業団直営分	0	0	0	0	0	0	367,673	367,673
	コンサル契約分	0	31,000	0	0	398,000	0	0	429,000
	計	0	31,000	0	0	398,000	0	367,673	796,673

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	①契約締結額	② 変更額	③契約変更後額	④支出実績額	⑤ 差引額 (①-④)
関東日本プラスチック成形工業協会	13,881,000	0	0	13,452,000	429,000

国名		中華人民共和国			
プロジェクト名		和	中華人民共和国工場(ポリバリコン)近代化計画調査		
		外	The Feasibility Study for the Factories (Poly Variable Condenser) Modernization Program in the People's Republic of China		
調査 団	団長	氏名	今本 正	総支出経費	12,754,794 円
		所属	(社)日本電子機械工業会	調査の種類	本 格
	調査団員数	6 名	計画申請	58 年 4 月 11 日 国協(総計)第 3-119 号	
	現地調査期間	58.5.15~58.6.5 (3名)	計画承認	58 年 5 月 14 日 58 通第 960 号	
	報告書説明期間	58.10.11~58.10.17(3名)	調査完了日	59 年 2 月 10 日	
使用コンサルタント名		(社)日本電子機械工業会 (業務実施契約)	担 当	工業調査課 中井 信也	

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

本件調査目的は上海の復旦電容器廠に対し工場診断を実施し、その結果に基づき既存設備の利用に重点をおいた生産管理及び製造技術に関する近代化計画を提案することである。

本件調査は1982年11月25日署名の「中華人民共和国工場(ポリバリコン)近代化計画調査に関する合意書」に基づき実施するもので上記復旦電容器廠に対する工場診断を実施し現状把握、問題点の指摘、改善案の提示を行うとともに当該工場の近代化計画を提案し、最終報告書にとりまとめ、業務を完了した。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

生産規模(ポリバリコン)

1985年 680 万個/年体制

所要資金: 2,569,130,000 円

(3) その他(今後の見通し等)

近代化計画の中で部品生産技術、金型生産、メンテナンス技術の研修を実施して現有設備の改善等の近代化計画を推進することが先決である。

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位:円)

区	分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等運送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合計
① 計画額	事業団直営分	0	0	0	0	0	0	248,000	248,000
	コンサル契約分	1,705,000	342,000	0	0	2,000,000	8,985,000	0	13,032,000
	計	1,705,000	342,000	0	0	2,000,000	8,985,000	248,000	13,280,000
② 変更・流用額	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
③ 変更・流用後額	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
④ 支出実績額	事業団直営分	0	0	0	0	0	0	74,794	74,794
	コンサル契約分	1,705,000	0	0	0	1,990,000	8,985,000	0	12,680,000
	計	1,705,000	0	0	0	1,990,000	8,985,000	74,794	12,754,794
⑤ 差引額 (①-④)	事業団直営分	0	0	0	0	0	0	173,206	173,206
	コンサル契約分	0	342,000	0	0	10,000	0	0	352,000
	計	0	342,000	0	0	10,000	0	173,206	525,206

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	① 契約時結額	② 変更額	③ 契約変更後額	④ 支出実績額	⑤ 差引額 (①-④)
出 日本電子機械工業会	13,032,000	0	0	12,680,000	352,000

国名	中華人民共和國			
プロジェクト名	和	中華人民共和國工場(家具)近代化計画調査		
	外	The Study for the Factory (Furniture) Modernization Program in the People's Republic of China		
調査団	氏名	青木 恒太郎	総支出経費	19,703,350 円
	所属	(社)国際家具産業振興会	調査の種類	本 格
	調査団員数	4 名	計画申請	58年4月11日 国協(総計)第3-114号
	現地調査期間	58. 6. 15~58. 7. 12(3名)	計画承認	58年5月21日 58通第 961 号
	報告書説明期間	58. 11. 28~58. 12. 7(1名)	調査完了日	59年3月20日
使用コンサルタント名	(社)国際家具産業振興会 (業務実施契約)		担 当	工業調査課 森多村 裕 介

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

烟台木材工業公司、第2家具廠に対し工場診断を実施し、その結果に基づき、既存設備の利用に重点をおいた生産管理と製造技術に関する近代化計画を作成することを目的とする。

- 調査内容
- (i) 工場の概要調査
 - (ii) 生産工程調査
 - (iii) 生産管理調査
 - (iv) 近代化計画の作成

(2) 結論及び勧告(調査結果)

近代化計画の内容：箱物家具生産能力の倍增
 日産 100 台 年産 30,000 台
 近代化に必要な所要資金 186,960,000 円

(3) その他(今後の見通し等)

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位:円)

区	分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等運送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合計
① 計 画 類	事業団直営分	334,000	111,000	10,000	0	0	0	142,000	597,000
	コンサル契約分	1,974,000	390,000	0	0	3,080,000	16,262,000	0	21,706,000
	計	2,308,000	501,000	10,000	0	3,080,000	16,262,000	142,000	22,303,000
② 変更・費用類	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
③ 変更・費用類	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
④ 支出実績類	事業団直営分	0	0	0	0	0	0	25,350	25,350
	コンサル契約分	1,974,000	144,000	0	0	1,298,000	16,262,000	0	19,678,000
	計	1,974,000	144,000	0	0	1,298,000	16,262,000	25,350	19,703,350
⑤ 差 引 類 (①-④)	事業団直営分	334,000	111,000	10,000	0	0	0	116,650	571,650
	コンサル契約分	0	246,000	0	0	1,782,000	0	0	2,028,000
	計	334,000	357,000	10,000	0	1,782,000	0	116,650	2,599,650

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	① 契約締結額	② 変更額	③ 契約変更後額	④ 支出実績額	⑤ 差引額 (①-④)
財団法人家具産業振興会	21,706,000	0	0	19,678,000	2,028,000

国名	中華人民共和国				
プロジェクト名	和	中華人民共和国工場（光学機器）近代化計画調査			
	外	The Study for the Factory (Optics) Modernization Program in the Peoples Republic of China			
調査団	団長	氏名	橋 詰 昭次郎	総支出経費	17,520,740 円
		所属	(社)日本分析機器工業会	調査の種類	本 格
		調査団員数	5 名	計画申請	58 年 4 月 11 日 国協(統計)第 3-115 号
		現地調査期間	58. 6. 20~58. 7. 12 (3名)	計画承認	58 年 5 月 25 日 58 通第 962 号
		報告書説明期間	58. 11. 23~58. 11. 29 (2名)	調査完了日	59 年 3 月 20 日
使用コンサルタント名	(社)日本分析機器工業会 (業務実業契約)		担 当	工業調査課 喜多村 裕 介	

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

天津市における天津光学機器廠に対し工場診断を実施し、その結果に基づき、既存設備の利用に重点をおいた生産管理と製造技術に関する近代化計画を作成することを目的とする。

- 調査内容 (i) 工場の見学調査
(ii) 生産工程調査
(iii) 生産管理調査
(iv) 近代化計画の作成

(2) 結論及び勧告(調査結果)

近代化計画：赤外分光光度計の200台/年の達成
生産管理の近代化の提案
近代化に必要な資金 168,046,000円

(3) その他(今後の見通し等)

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位：円)

区	分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等運送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合計
① 計画額	事業団直営分	295,000	228,000	10,000	0	0	0	193,000	726,000
	コンサル契約分	2,044,600	281,000	0	0	3,080,000	13,574,000	0	18,979,000
	計	2,339,000	509,000	10,000	0	3,080,000	13,574,000	193,000	19,705,000
② 変更費用類	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
③ 変更費用後類	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
④ 支出実績額	事業団直営分	0	0	0	0	0	0	27,740	27,740
	コンサル契約分	1,968,000	136,000	0	0	1,815,000	13,574,000	0	17,493,000
	計	1,968,000	136,000	0	0	1,815,000	13,574,000	27,740	17,520,740
⑤ 差引額 (①-④)	事業団直営分	295,000	228,000	10,000	0	0	0	165,260	698,260
	コンサル契約分	76,000	145,000	0	0	1,265,000	0	0	1,486,000
	計	371,000	373,000	10,000	0	1,265,000	0	165,260	2,184,260

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	① 契約締結額	② 変更額	③ 契約変更後額	④ 支出実績額	⑤ 差引額 (①-④)
財団法人分析機器工業会	18,979,000	0	0	17,493,000	1,486,000

国名		中華人民共和国				
プロジェクト名		和	中華人民共和国工場(ガラス)近代化計画調査			
		外	The Study for the Factory (Glass) Modernization Program in the Peoples Republic of China			
調査団	団長	氏名	梅津正明		総支出経費	17,961,810 円
		所属	(社)日本硝子製品工業会		調査の種類	本格
	調査団員数	5 名		計画申請	58 年 4 月 11 日 国協(総計)第 3-117 号	
	現地調査期間	58. 7. 11~58. 7. 31(4名)		計画承認	58 年 5 月 25 日 58 通第 963 号	
	報告書説明期間	58. 12. 12~58. 12. 18(1名)		調査完了日	59 年 3 月 10 日	
使用コンサルタント名		(社)日本硝子製品工業会 (業務実施契約)		担当	工業調査課 高多村 裕介	

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

上海市における上海玻璃瓶二廠に対し工場診断を実施し、その結果に基づき既存設備の利用に重点をおいた生産管理と製造技術に関する近代化計画を作成することを目的とする。

- 調査内容 (i) 工場概要調査
(ii) 生産工程調査
(iii) 生産管理調査
(iv) 近代化計画の作成

(2) 結論及び勧告(調査結果)

近代化計画 (1)国際水準までの品質の向上 (2)原料秤量の自動化 (3)溶解窯の耐用年数の向上 (4)省エネルギー 等について近代化計画を作成した。

近代化に必要な資金 832,424,500 円

(3) その他(今後の見通し等)

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位:円)

区	分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等運送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合計
① 計 西 類	事業団直営分	243,000	90,000	10,000	0	0	0	142,000	485,000
	コンサル契約分	1,821,000	246,000	0	0	3,080,000	12,919,000	0	18,066,000
	計	2,064,000	336,000	10,000	0	3,080,000	12,919,000	142,000	18,551,000
② 変更・費用類	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
③ 変更・費用後類	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
④ 支出実績類	事業団直営分	0	0	0	0	0	0	101,810	101,810
	コンサル契約分	1,806,000	69,000	0	0	3,066,000	12,919,000	0	17,860,000
	計	1,806,000	69,000	0	0	3,066,000	12,919,000	101,810	17,961,810
⑤ 差引類 (①-④)	事業団直営分	243,000	90,000	10,000	0	0	0	40,190	383,190
	コンサル契約分	15,000	177,000	0	0	14,000	0	0	206,000
	計	258,000	267,000	10,000	0	14,000	0	40,190	589,190

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	① 契約締結額	② 変更額	③ 契約変更後額	④ 支出実績額	⑤ 差引額 (①-④)
㈱日本硝子製品工業会	18,066,000	0	0	17,860,000	206,000

国名		インドネシア共和国			
プロジェクト名		和	インドネシア共和国砂糖副産物利用工業開発計画調査		
		外	The Feasibility Study on the Development of Sugarcane Molasses Fermentation Industry in the Republic of Indonesia		
調査団	団長	氏名	西村 淳	総支出経費	17,848,188 円
		所属	協和発酵工業株式会社	調査の種類	本 格
	調査団員数	4 名	計画申請	58 年 4 月 11 日	国協(総計)第 3-100 号
	現地調査期間		計画承認	58 年 5 月 24 日	58 通第 964 号
	報告書説明期間	58.5.30~58.6.5	調査完了日	58 年 10 月 30 日	
使用コンサルタント名		協和発酵工業株式会社/協和日本プラント協会 (業務実施契約)		担 当	工業調査課 喜多村 裕 介

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

調査目的 インドネシアにおける既存及び新設される砂糖工場より副産物として生産されるモラセスの有効利用を目的とする発酵工業の F/S

- 調査内容
- I) 砂糖産業、発酵工業の現状及び将来の見通し
 - II) 糖みつ・糖みつからの発酵工業製品等の市場調査
 - III) プラントサイト(3候補地)の概要調査
 - IV) バガス有効利用についての調査
 - V) 糖みつからの砂糖回収プロセスについての当否の検討
 - VI) サイトの選定
 - VII) 市場調査分析
 - VIII) 概念設計(プロセス設計、プラント設計他)
 - IX) 組織・要員訓練計画の策定
 - X) 建設・運転計画の策定
 - XI) 環境対策
 - XII) 必要総資金の積算
 - XIII) 財務計算
 - XIV) 経済分析
 - XV) 結論及び勧告

(2) 結論及び勧告(調査結果)

モラセスからの発酵製品についての市場調査の結果からエタノール、飼料用酵母抗生物質(コリネシン)が有望製品と判断されたが F/S 結果は以下の通りエタノール・コリネシンの 2 品目では投資額 12,500 百万ルピーで ROI は 13.37%、しかしながら、これに飼料用酵母を加えると変動費が高く、採算性はない、計算上の ROI は -10.33%、これは発酵を制御するために必要な冷却水の水温が高く、一旦冷却する必要がありこの為非常に変動費が高くなる。耐熱性の発酵菌の開発が必要である。

(3) その他(今後の見通し等)

特になし

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位:円)

区	分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等購送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合計
① 計 画 額	事業団直営分	450,000	162,000	10,000	0	0	0	243,000	865,000
	コンサル契約分	1,340,000	75,000	0	0	3,440,000	12,765,000	0	17,620,000
	計	1,790,000	237,000	10,000	0	3,440,000	12,765,000	243,000	18,485,000
② 液 用 額	事業団直営分	13,000	△ 13,000	0	0	0	0	0	0
	コンサル契約分	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	13,000	△ 13,000	0	0	0	0	0	0
③ 液 用 後 額	事業団直営分	463,000	149,000	10,000	0	0	0	243,000	865,000
	コンサル契約分	1,340,000	75,000	0	0	3,440,000	12,765,000	0	17,620,000
	計	1,803,000	224,000	10,000	0	3,440,000	12,765,000	243,000	18,485,000
④ 支 出 実 績 額	事業団直営分	462,817	65,938	0	0	0	0	90,433	619,188
	コンサル契約分	1,340,000	12,000	0	0	3,262,000	12,615,000	0	17,229,000
	計	1,802,817	77,938	0	0	3,262,000	12,615,000	90,433	17,848,188
⑤ 差 引 額 (③-④)	事業団直営分	183	83,062	10,000	0	0	0	152,567	245,812
	コンサル契約分	0	63,000	0	0	178,000	150,000	0	391,000
	計	183	146,062	10,000	0	178,000	150,000	152,567	636,812

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	①契約締結額	②変 更 額	③契約変更後額	④支出実績額	⑤差引額 (①-④)
共 同 企 業 体 代表者 協 和 発 酵 工 業 株 式 有 限 公 司 構成員 協 同 日 本 プ ラ ン ト 協 会	17,620,000	0	0	17,229,000	391,000

国名		インドネシア共和国			
プロジェクト名		和	インドネシア共和国ルンプール地熱開発計画調査		
		外	Pre Feasibility Study for the Lempur Geothermal Development Project in the Republic of Indonesia		
調査団	団長	氏名	江島 康彦	総支出経費	30,055,327 円
		所属	西日本技術開発株式会社	調査の種類	本格
	調査団員数	1 名	計画申請	58 年 4 月 13 日	国協(総計)第 4-9 号
	現地調査期間		計画承認	58 年 5 月 25 日	58 通第 1121 号
	報告書説明期間	58.7.24~58.7.30	調査完了日	58 年 10 月 31 日	
使用コンサルタント名		西日本技術開発株式会社 (業務実態契約)		担 当	資務調査課 立石 勝

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

昭和57年度実施した調査井掘削のデータ解析を行い、併せて55、56年度調査結果をとりまとめ、当該地域の地熱ポテンシャルの評価及び今後の地熱開発計画の策定を行うことを目的とした。

調査内容としては、1)ドラフト・ファイナル・レポート現地説明、2)試録データ解析、3)地質・地化学解析、4)孔内測定解析、5)総合解析を行った。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

Duabelas 地区には30MWのポテンシャルがあることが推定された。同地区のポテンシャルを確認するための追加調査として5MWの小容量地熱発電設備を開発するための技術的、経済的可能性調査の実施が勧告された。

(3) その他(今後の見通し等)

インドネシア共和国内の全地熱プロジェクト中でのプライオリティが低いこと等の理由でインドネシア側のフォローがなされていない。

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位:円)

区 分	I 調査経費	II 現地調査費	III 資機材等購送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合 計
① 計 画 類	事業団直営分	476,000	151,000	0	0	0	270,000	897,000
	コンサル契約分	451,000	0	0	0	5,340,000	24,204,000	29,995,000
	計	927,000	151,000	0	0	5,340,000	24,204,000	30,892,000
② 変更・流用類	事業団直営分							
	コンサル契約分							
	計							
③ 変更・流用後類	事業団直営分							
	コンサル契約分							
	計							
④ 支出実績類	事業団直営分	0	0	0	0	0	60,327	60,327
	コンサル契約分	451,000	0	0	0	5,340,000	24,204,000	29,995,000
	計	451,000	0	0	0	5,340,000	24,204,000	30,055,327
⑤ 差 引 類 (①-④)	事業団直営分	476,000	151,000	0	0	0	209,673	836,673
	コンサル契約分	0	0	0	0	0	0	0
	計	476,000	151,000	0	0	0	209,673	836,673

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	①契約締結額	② 変 更 額	③契約変更後額	④支出実績額	⑤ 差 引 額 (①-④)
共 同 企 業 体 代表者 西 日 本 技 術 開 発 株	29,995,000	0	0	29,995,000	0

国名		タイ王国			
プロジェクト名		和	タイ王国サンカンペン地熱開発計画調査		
		外	Pre-Feasibility Study for the San Kampaeng Geothermal Development Project in the Kingdom of Thailand.		
調査団	団長	氏名	中村久由	総支出経費	74,227,998 円
		所属	日本重化学工業株式会社	調査の種類	本 格
	調査団員数		3 名	計画申請	58 年 4 月 14 日 国協(総計)第 4-10 号
	現地調査期間		58. 6. 15~58. 6. 24 (1名)	計画承認	58 年 5 月 25 日 58 通第 1122 号
	報告書説明期間		58. 10. 17~58. 10. 23 (2名)	調査完了日	59 年 2 月 28 日
使用コンサルタント名		共同企業体代表者日本重化学工業株式会社 構成者 日鉄鉱コンサルタント株式会社 三井金属資源開発株式会社 (業務実施契約)		担 当	資源調査課 立石 勝

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

昭和57年度実施した現地調査結果の国内解析を行い、当該地域における地熱貯留層構造モデルの作成及び地熱ポテンシャル性の評価を行うことを目的とし
 1) 地質コア調査、2) ドラフトテクニカルレポート説明、3) 深部電気探査解析
 4) 弾性波探査解析、5) 地熱構造モデルの作成、6) 地熱ポテンシャル性の評価、7) 調査井掘削のための試験機材の供与を行った。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

直径400 m高さ2,000 mのシリンダー状の貯留層モデルが考えられ、推定最高温度200℃、断層に支配された水のRechargeシステムからなる地熱構造モデルが作成された。以上により、第3段階の調査を実施する価値は十分であると結論された。

(3) その他(今後の見通し等)

昭和60年度実施予定の1,500 m調査井の位置をより詳細に決定するためにMT補足調査を実施した。

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位:円)

区 分		I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等運送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合 計
① 計 画 額	事業団直営分	934,000	196,000	10,000	0	0	0	878,000	2,018,000
	コンサル契約分	891,000	0	0	0	6,635,000	66,384,000	0	73,910,000
	計	1,825,000	196,000	10,000	0	6,635,000	66,384,000	878,000	75,928,000
② 変更・活用額	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
③ 変更・活用後額	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
④ 支出実績額	事業団直営分	439,530	32,922	0	0	0	0	412,546	884,998
	コンサル契約分	891,000	0	0	0	6,635,000	65,817,000	0	73,343,000
	計	1,330,530	32,922	0	0	6,635,000	65,817,000	412,546	74,227,998
⑤ 差 引 額 (①-④)	事業団直営分	494,470	163,078	10,000	0	0	0	465,454	1,133,002
	コンサル契約分	0	0	0	0	0	567,000	0	567,000
	計	494,470	163,078	10,000	0	0	567,000	465,454	1,700,002

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	①契約締結額	② 変 更 額	③契約変更後額	④支出実績額	⑤ 差 引 額 (①-④)
共 同 企 業 体 代 表 者 日 本 重 化 学 工 業 株	73,910,000	0	0	73,343,000	567,000

国名	フィリピン共和国				
プロジェクト名	和	フィリピン共和国アクバン・イトゴン地熱開発計画			
	外	The Pre-Feasibility Study for the Acupan-Itogon Geothermal Exploration Project in the Republic of the Philippines.			
調査団	団長	氏名	坂井定倫	総支出経費	98,641,472 円
		所属	大手開発㈱	調査の種類	本格
	調査団員数	15 名	計画申請	58 年 4 月 13 日	国協(総計)第 4-11 号
	現地調査期間	58.9.28~58.12.23 59.1.22~59.2.15	計画承認	58 年 5 月 25 日	58 通第 1123 号
		報告書説明期間		調査完了日	59 年 3 月 20 日
使用コンサルタント名	大手開発㈱ (業務実施契約)			担当	資源調査課 永田邦昭

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

本調査は、フィリピン共和国ベンゲット州アクバン・イトゴン地区における地熱開発調査であり、本年度は、昭和57年度調査において抽出された開発有望地域について、地質・地化学精査、微小地震探査及び耐温孔検層を実施し、地熱ポテンシャルの評価を行うとともに、構造モデルの作成を行うものである。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

貯留層の広がりは約8㌔とも想定され深井戸(調査井)を掘るに値する地域である。

(3) その他(今後の見通し等)

昭和59年度は第3フェーズとして1,500 mの調査井1本を掘削する予定である。

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位：円)

区 分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等購送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合 計
① 計 画 額	事業団直営分	331,000	95,000	10,000	0	0	270,000	706,000
	コンサル契約分	8,575,000	6,855,000	10,548,000	0	3,500,000	69,603,000	99,081,000
	計	8,906,000	6,950,000	10,558,000	0	3,500,000	69,603,000	99,787,000
② 変更・流用額	事業団直営分							
	コンサル契約分							
	計							
③ 変更・流用後額	事業団直営分							
	コンサル契約分							
	計							
④ 支出実績額	事業団直営分	319,217	51,955	0	0	0	211,300	582,472
	コンサル契約分	8,575,000	6,478,000	10,548,000	0	3,500,000	68,958,000	98,059,000
	計	8,894,217	6,529,955	10,548,000	0	3,500,000	68,958,000	98,641,472
⑤ 差 引 額 (①-④)	事業団直営分	11,783	43,045	10,000	0	0	58,700	123,528
	コンサル契約分	0	377,000	0	0	0	645,000	1,022,000
	計	11,783	420,045	10,000	0	0	645,000	1,145,528

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	① 契約締結額	② 変更額	③ 契約変更後額	④ 支出実績額	⑤ 差引額 (①-④)
大手開発	99,081,000	0	0	98,059,000	1,022,000

国名		アルゼンティン共和国			
プロジェクト名		和	ネウケン州北部地熱開発計画調査(第一次)		
		外	Pre-Feasibility Study for the Northern Neuquen Geothermal Development Project in the Argentine Republic		
調査団	団長	氏名	掛川 昇 男	総支出経費	39,016,241 円
		所属	日鉱探検株式会社	調査の種類	本 格
	調査団員数	1 名	計画申請	58 年 4 月 14 日	国協(鉱計)第 4-12 号
	現地調査期間		計画承認	58 年 5 月 25 日	58 通第 1124 号
	報告書説明期間	58.8.20~58.8.29	調査完了日	58 年 12 月 31 日	
使用コンサルタント名		日 鉱 探 検 株式会社 (業務実務契約)		担 当	資源調査課 北 島 正 豪

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

57年度現地調査により得られたデータ資料に基づき解析を行った。
 その主なものは、地質解析、岩析試験、水理水文試験、地下学探査解析等である。
 さらに、ドラフト中間報告書の現地説明報告を行った。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

これまでの現地調査の結果、極めて有望な知見があり、是非とも次段階調査の必要が認められた。

(3) その他(今後の見通し等)

次段階に進むためには、S/W上、直営ベースを派遣し確認をした上で進めることがベターと考えられる。

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位:円)

区 分		I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等運送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合 計
① 計 画 額	事業団直営分	1,077,000	156,000	0	0	0	0	280,000	1,513,000
	コンサル契約分	1,067,000	0	0	0	5,420,000	32,412,000	0	38,899,000
	計	2,144,000	156,000	0	0	5,420,000	32,412,000	280,000	40,412,000
② 変更・流用額	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
③ 変更・流用後額	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
④ 支出実績額	事業団直営分	0	0	0	0	0	0	186,241	186,241
	コンサル契約分	998,000	0	0	0	5,420,000	32,412,000	0	38,830,000
	計	998,000	0	0	0	5,420,000	32,412,000	186,241	39,016,241
⑤ 差 引 額 (①又は③-④)	事業団直営分	1,077,000	156,000	0	0	0	0	93,759	1,326,759
	コンサル契約分	69,000	0	0	0	0	0	0	69,000
	計	1,146,000	156,000	0	0	0	0	93,759	1,395,759

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	①契約締結額	② 変 更 額	③契約変更後額	④支出実績額	⑤ 差 引 額 (①-④)
日 鉄 探 検 科	38,899,000	0	0	38,830,000	69,000

国名	シンガポール共和国				
プロジェクト名	和	シンガポール共和国石炭火力発電所及び一貫製鉄所の立地に係る環境への影響調査(粉塵事前調査)			
	外	The Preliminary Survey Environmental Effects of Coal Firing Power Stations & Integrated Steel Mill in the Republic of Singapore (Particulate Survey)			
調査団	団長	氏名	岩口 健二	総支出経費	1,069,315 円
		所属	国協協力事業団鉄工業計画調査部工業調査課長	調査の種類	事前
		調査団員数	2 名	計画申請	58 年 4 月 25 日 国協(鉄計)第 4-63 号
		現地調査期間	58.6.1~58.6.7	計画承認	58 年 5 月 24 日 58 通第 1219 号
	報告書説明期間		調査完了日	58 年 8 月 31 日	
使用コンサルタント名			担当	工業調査課 佐藤よし江	

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

シンガポール共和国が策定中の新工業地区に石炭火力発電所および一貫製鉄所が立地した場合これらから排出する粉塵の「シ」国の大気環境に与える影響を予測し、同国政府が環境汚染対策を検討するうえで必要な資料を提供することを目的とするものである。

今次事前調査において以下の項目について調査を行った。

- (1) 観測地点の選定(20地点)
- (2) 本格調査に係る基本的事項(S/W)の協議
- (3) 関連情報の収集

(2) 結論及び勧告(調査結果)

本件に係るS/Wについては出発前の関係者の検討において、現在進行中の調査に係るS/W(1980.12.19署名)を生かしつゝ同S/Wが網羅していない追加的事項についてのみ作成しMinutes of Meetingの形で署名することとするとの対処方針で了解され1983年6月6日JTCとJICAの間でMinutesを取り交した。

(3) その他(今後の見通し等)

上記Minutes of Meetingに基づく本格調査の実施

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位：円)

区 分		I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等運送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 附帯費	VII 附帯費	合 計
① 計 画 額	事業団直営分	1,375,000	157,000	30,000	0	200,000	0	145,000	1,907,000
	コンサル契約分	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1,375,000	157,000	30,000	0	200,000	0	145,000	1,907,000
② 変更・費用類	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
③ 変更・費用後類	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
④ 支出実績額	事業団直営分	922,368	75,097	29,450	0	40,000	0	2,400	1,069,315
	コンサル契約分	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	922,368	75,097	29,450	0	40,000	0	2,400	1,069,315
⑤ 差 引 額 (①-④)	事業団直営分	452,632	81,903	550	0	160,000	0	142,600	837,685
	コンサル契約分	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	452,632	81,903	550	0	160,000	0	142,600	837,685

国名		アルジェリア民主人民共和国				
プロジェクト名		和				
		アルジェリア民主人民共和国海水淡水化計画調査				
外		The Feasibility Study on the Establishment of Sea Water Desalination Plant in Democratic and Peoples Republic of Algeria				
調査団	団長	氏名	①中間報告書説明 永野靖敏	② 報告書説明 村山義雄	総支出経費	58,402,304 円
		所属	日 揮 輪	製造水促進センター	調査の種類	本 格
	調査団員数	8 名			計画申請	58 年 4 月 11 日 国協(策計)第 3-99 号
	現地調査期間				計画承認	58 年 5 月 19 日 58 通第 965 号
	報告書説明期間	① 58. 6. 4~58. 6. 13(3名) ② 58. 7. 28~58. 8. 6(5名)			調査完了日	58 年 10 月 31 日
使用コンサルタント名		業務共同企業体 代表者 製造水促進センター		構成員 日揮輪 (業務実態契約)	担 当	工業調査課 石井隆弘

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

アルジェ市域の水需要予測に基づいて蒸発法、逆浸透法の両プロセスの海水淡水化プラント及び同付帯施設の概念設計を行い、本プロジェクトのフェージビリティに関し、技術的、財務的、経済的観点から検討を行った。具体的調査内容は次の通りである。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1) 上水道事業の現状と需要予測 | 7) プラントサイト |
| 2) プラントの製造規模 | 8) 用役及びインフラストラクチャー |
| 3) プロセス(蒸発法、RO)の比較検討 | 9) プラントの概念設計 |
| 4) 最適プロセスの選定 | 10) 建設計画 |
| 5) 原料水、副原料 | 11) 運営組織及び要員計画 |
| 6) 取水、排水 | 12) 財務、経済分析 |

(2) 結論及び勧告(調査結果)

- 1) プラントサイト：Stamboul
- 2) プラント規模：150,000 m³/日
- 3) プロセス：多段フラッシュ蒸発法
でリコメンドした。

(3) その他(今後の見通し等)

特になし

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位:円)

区 分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等運送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合 計
① 計 画 額	事業団直営分	2,146,000	319,000	20,000	0	0	288,000	2,773,000
	コンサル契約分	6,665,000	641,000	0	0	7,539,000	42,442,000	57,287,000
	計	8,811,000	960,000	20,000	0	7,539,000	42,442,000	60,060,000
② 変更・活用額	事業団直営分							
	コンサル契約分							
	計							
③ 変更・活用後額	事業団直営分							
	コンサル契約分							
	計							
④ 支出実績額	事業団直営分	1,029,730	218,473	9,890	0	0	246,211	1,504,304
	コンサル契約分	6,664,000	359,000	0	0	7,433,000	42,442,000	56,898,000
	計	7,693,730	577,473	9,890	0	7,433,000	42,442,000	58,402,304
⑤ 差 引 額 (①-④)	事業団直営分	1,116,270	100,527	10,110	0	0	41,789	1,268,696
	コンサル契約分	1,000	282,000	0	0	106,000	0	389,000
	計	1,117,270	382,527	10,110	0	106,000	0	1,657,696

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	① 契約締結額	② 変更額	③ 契約変更後額	④ 支出実績額	⑤ 差引額 (①-④)
共 同 企 業 セ ン タ ー 代 表 員 日 本 水 産 選 抜 体	57,286,000	0	0	56,898,000	388,000

国名		アルジェリア民主人民共和国			
プロジェクト名		和	アルジェリア民主人民共和国海水淡水化計画事前調査		
		外	The Preliminary Study on the Establishment of Sea Water Desalination Plant in Democratic and Peoples Republic of Algeria		
調査団	団長	氏名		総支出経費	99,000 円
		所属		調査の種類	本格
	調査団員数			計画申請	58年4月14日 国協(総計)第3-172号
	現地調査期間			計画承認	58年5月25日 58通第1125号
	報告書説明期間			調査完了日	58年7月31日
使用コンサルタント名				担 当	工業調査課 石井隆弘

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

本プロジェクトの目的はアルジェ市域を給水対象とした海水淡水化プラント及び同付帯施設を建設することであり、本件は57年度において実施した事前調査の調査結果を報告書として作成し印刷、製本するものである。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

報告書の主たる内容は、事前調査の概要、結果「ア」側への要求資料、Implementing Arrangement 等である。

(3) その他(今後の見通し等)

特になし

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位：円)

区	分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等運送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合計
① 計画額	事業団直営分	0	0	0	0	500,000	0	0	500,000
	コンサル契約分	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	500,000	0	0	500,000
② 変更・流用額	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
③ 変更・流用後額	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
④ 支出実績額	事業団直営分	0	0	0	0	99,000	0	0	99,000
	コンサル契約分	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	99,000	0	0	99,000
⑤ 差引額 (①又は③-④)	事業団直営分	0	0	0	0	401,000	0	0	401,000
	コンサル契約分	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	401,000	0	0	401,000

国名	フィリピン共和国		
プロジェクト名	和	フィリピン共和国活性炭工業振興開発計画事前調査	
	外	The Preliminary Survey on the Establishment of the Powdered Activated Carbon Plants in the Republic of the Philippines.	
調査団	氏名		修支出経費 957,330 円
	所属		調査の種類 事前
	調査団員数		計画申請 58年4月25日 国協(総計)第4-69号
	現地調査期間		計画承認 58年5月31日 58通第1218号
	報告書説明期間		調査完了日 58年9月30日
使用コンサルタント名	クラレケミカル	(役員提供契約)	担当 工業調査課 高多村 裕介

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

フィリピン国においては、木材の原木輸出規制を行なっており、木材の輸出を行なうには、付加価値を高めた製品輸出が要求されている。そこで、フィリピン国立科学研究所(NIST)は、工業技術院及び北海道工業開発試験所との間で、未利用の熱帯植物からの活性炭製造に関する共同研究を行なってきた。

この結果、活性炭の製造技術及び得られる活性炭の品質についての基礎的な技術の確立がみられた。

そこで、フィリピン政府は、活性炭工業の振興を図るべく、昭和57年3月、フィージビリティ調査の実施を我が国に対して要請してきたものである。

これを受けて、我が方は昭和58年3月事前調査団を派遣し、本件調査を実施するための、基本的事項調査の範囲等を協議し、同年3月24日I/Aに合意し署名した。

本件はこの事前調査の結果を取りまとめ報告書の作成を行なうものである。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

事前調査報告書の作成

(3) その他(今後の見通し等)

本格調査の実施

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位：円)

区	分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等運送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合計
① 計画額	事業団直営分	0	0	0	0	200,000	0	230,000	430,000
	コンサル契約分	0	0	0	0	0	744,000	0	744,000
	計	0	0	0	0	200,000	744,000	230,000	1,174,000
② 変更・流用額	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
③ 変更・流用後額	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
④ 支出実績額	事業団直営分	0	0	0	0	74,000	0	139,330	213,330
	コンサル契約分	0	0	0	0	0	744,000	0	744,000
	計	0	0	0	0	74,000	744,000	139,330	957,330
⑤ 差引額 (①-④)	事業団直営分	0	0	0	0	126,000	0	90,670	216,670
	コンサル契約分	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	126,000	0	90,670	216,670

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	①契約締結額	②変更額	③契約変更後額	④支出実績額	⑤差引額 (①-④)
クラレケミカル ㈱	744,000	0	0	744,000	0

国名		ペルー共和国			
プロジェクト名		和	ペルー共和国アリコータ水力発電開発計画調査		
		外	The Feasibility Study on Water Supply for the Lake Aricota and the Aricota No. 3. Hydroelectric Power Project in the Republic of Peru.		
調査団	団長	氏名	櫻 並 敏 夫	総支出経費	66,462,294 円
		所属	電源開発院	調査の種類	本 格
	調査団員数		5 名	計画申請	58 年 4 月 18 日 国協(総計)第 4-31 号
	現地調査期間		58. 7. 15 ~ 58. 8. 13 (3名)	計画承認	58 年 5 月 25 日 58 通第 1133 号
		報告書説明期間	58. 11. 28 ~ 58. 12. 13 (2名)	調査完了日	58 年 12 月 31 日
使用コンサルタント名		電源開発院 (業務実施契約)		担 当	資源調査課 永田邦昭

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

本調査は、ペルー共和国南部アリコータ湖水補給計画とアリコータ湖下流域の第3発電所建設計画からなっており、本年度は57年度実施した現地調査に基づき、以下の調査を行うものである。

(a) 現 地 調 査

中間報告書において、アリコータ湖水補給計画の代替案の比較検討を行い、最適計画を決定するとともに、経済分析に必要なデータ収集を行う。

(b) 国 内 解 析

最終報告書の作成を行う。

(c) 報 告 書 説 明

最終報告書ドラフトを現地で説明し、内容について合意する。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

水補給計画は、ロリスコータ湖を利用する計画が採用され、アリコータ湖水の涸渇を未然に防ぐため、早急に同計画を開始するよう勧告している。この水補給計画に基づき、第3発電所建設計画もフェージブルであることが結論されている。

(3) その他(今後の見通し等)

昭和59年度の円借款要請がなされている。

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位：円)

区	分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等運送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合計
① 計画額	事業団直営分	1,885,000	330,000	0	0	0	0	696,000	2,911,000
	コンサル契約分	4,112,000	414,000	0	0	6,300,000	54,677,000	0	65,503,000
	計	5,997,000	744,000	0	0	6,300,000	54,677,000	696,000	68,414,000
② 変更・取消額	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
③ 変更・取消後額	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
④ 支出実績額	事業団直営分	966,955	136,073	0	0	0	0	321,266	1,424,294
	コンサル契約分	4,083,000	141,000	0	0	6,300,000	54,514,000	0	65,038,000
	計	5,049,955	277,073	0	0	6,300,000	54,514,000	321,266	66,462,294
⑤ 差引額 (①-④)	事業団直営分	918,045	193,927	0	0	0	0	374,734	1,486,706
	コンサル契約分	29,000	273,000	0	0	0	163,000	0	465,000
	計	947,045	466,927	0	0	0	163,000	374,734	1,951,706

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	① 契約締結額	② 変更額	③ 契約変更後額	④ 支出実績額	⑤ 差引額 (①-④)
電 源 同 発 拘	65,503,000	0	0	65,038,000	465,000

国名	インドネシア共和国				
プロジェクト名	和	インドネシア共和国ルヌン水力発電開発計画調査			
	外	The Feasibility Study for Renun Hydro-Electric Power Development Project in the Republic of Indonesia.			
調査団	団長	氏名	大村 精一	総支出経費	70,641,781 円
		所属	日本工営 幹	調査の種類	本 格
	調査団員数	11 名	計画申請	58 年 4 月 18 日	国協(総計)第 4-32 号
	現地調査期間	58. 7. 7 ~ 58.10. 4 (7名) 59. 2.15 ~ 59. 3.15 (3名)	計画承認	58 年 5 月 25 日	58 通第 1132 号
	報告書説明期間	58. 8.15 ~ 58. 8.26 (1名)	調査完了日	59 年 3 月 19 日	
使用コンサルタント名	日本工営 幹 (業務実施契約)		担 当	資源調査課 永田 邦昭	

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

本調査は、インドネシア共和国北スマトラのトバ湖南側を流れるルヌン川を流域変更し、トバ湖に導く過程で水力発電開発を行うことを目的として、その為のフェージビリティ調査を行うものであり、本年度は以下の調査を実施するものである。

(1) 現地調査

予備調査を行い、インセプション・レポートおよび調査工事のための技術仕様書を作成し「イ」側に提出するとともに雨期の水文観測、流量測定を行う。

(2) 国内解析

予備的現地調査の結果とりまとめと、最適計画の検討を行う。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

インセプション・レポート、技術仕様書について「イ」側と合意し、又、水文調査においても良いデータを得た。

(3) その他(今後の見通し等)

インセプション・レポート提出後「イ」側経費負担で実施する調査工事の開始が遅れ、本年5月下旬から4ヶ月間実施する予定になっており、この間工事指導も兼ねて調査団を派遣することになっている。最終報告書は60年2月提出の予定。

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位:円)

区	分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等運送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合計
① 計 画 類	事業団直営分	1,009,000	429,000	10,000	0	0	0	812,000	2,260,000
	コンサル契約分	21,842,000	18,205,000	5,839,000	0	90,000	98,490,000	0	144,466,000
	計	22,851,000	18,634,000	5,849,000	0	90,000	98,490,000	812,000	146,726,000
② 変 更 類	事業団直営分	△ 397,000	△ 176,000	△ 10,000	0	0	0	△ 194,000	△ 777,000
	コンサル契約分	△ 11,999,000	△ 12,511,000	△ 1,985,000	0	△ 70,000	△ 47,919,000	0	△ 74,484,000
	計	△ 12,396,000	△ 12,687,000	△ 1,995,000	0	△ 70,000	△ 47,919,000	△ 194,000	△ 75,261,000
③ 変 更 後 類	事業団直営分	612,000	253,000	0	0	0	0	618,000	1,483,000
	コンサル契約分	9,843,000	5,694,000	3,854,000	0	20,000	50,571,000	0	69,982,000
	計	10,455,000	5,947,000	3,854,000	0	20,000	50,571,000	618,000	71,465,000
④ 支 出 実 績 類	事業団直営分	611,233	251,000	0	0	0	0	423,548	1,285,781
	コンサル契約分	9,843,000	5,229,000	3,694,000	0	20,000	50,570,000	0	69,356,000
	計	10,454,233	5,480,000	3,694,000	0	20,000	50,570,000	423,548	70,641,781
⑤ 差 引 類 (③-④)	事業団直営分	767	2,000	0	0	0	0	194,452	197,219
	コンサル契約分	0	465,000	160,000	0	0	1,000	0	626,000
	計	767	467,000	160,000	0	0	1,000	194,452	823,219

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	① 契約締結額	② 変 更 額	③ 契約変更後額	④ 支出実績額	⑤ 差引額 (③-④)
日 本 工 営 機	144,466,000	△ 74,484,000	69,982,000	69,356,000	626,000

国名		ドミニカ共和国				
プロジェクト名		和	ドミニカ共和国ユナ川水力発電開発計画調査			
		外	The Feasibility Study on the Yuna River Hydroelectric Power Development Project in the Dominican Republic.			
調査団	団長	氏名	岡田博康		総支出経費	144,944,118 円
		所属	日本工営機		調査の種類	本 格
	調査団員数	10 名		計画申請	58 年 4 月 20 日	国協(筈計)第 4-45 号
	現地調査期間	58. 5.30 ~ 58. 8.20 (8名)		計画承認	58 年 5 月 28 日	58 通第 1152 号
	報告書説明期間	59. 3.11 ~ 59. 3.19 (2名)		調査完了日	59 年 3 月 31 日	
使用コンサルタント名		日本工営機 (業務実施契約)		担 当	資源調査課 永田邦昭	

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

ドミニカ第2の河川であるユナ川の上流の水力発電開発(BL TORITO, LOS VEGONOS の2ヶ地点)計画について、技術的・経済的妥当性を評価することを目的とした。

今年度は、LOS VEGONOS 地点の他1地点のボーリングと水文調査(昨年より継続)を行い、国内作業を行って最終報告書ドラフトを作成し、先方に説明を行った。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

最終報告書ドラフトの内容について、先方より若干のコメントがあったが、概ね諒承された。

(3) その他(今後の見通し等)

先方のコメントを受けて、最終報告書を印刷・製本し送付する。

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位:円)

区	分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等運送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合計
① 計 画 類	事業団直営分	1,604,000	508,000	0	0	0	0	300,000	2,412,000
	コンサル契約分	10,035,000	6,999,000	2,609,000	0	6,642,000	118,305,000	0	144,590,000
	計	11,639,000	7,507,000	2,609,000	0	6,642,000	118,305,000	300,000	147,002,000
② 変更・採用類	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
③ 変更・採用後類	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
④ 支出実績類	事業団直営分	513,142	217,506	0	0	0	0	12,470	743,118
	コンサル契約分	9,955,000	6,948,000	2,516,000	0	6,642,000	118,140,000	0	144,201,000
	計	10,468,142	7,165,506	2,516,000	0	6,642,000	118,140,000	12,470	144,944,118
⑤ 差 引 類 (①-④)	事業団直営分	1,090,858	290,494	0	0	0	0	287,530	1,668,882
	コンサル契約分	80,000	51,000	93,000	0	0	165,000	0	389,000
	計	1,170,858	341,494	93,000	0	0	165,000	287,530	2,057,882

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	① 契約締結類	② 変更類	③ 契約変更後類	④ 支出実績類	⑤ 差引類 (①-④)
日 本 工 営 株	144,590,000	0	0	144,201,000	389,000

国名		フィリピン共和国			
プロジェクト名		和	フィリピン共和国マツノ川開発計画調査		
		外	The Feasibility Study on MATUNO RIVER DEVELOPMENT PROJECT in the Republic of the Philippines.		
調査 団	団長	氏名	津田 誠	総支出経費	76,120,722 円
		所属	日本工営 幹	調査の種類	本 格
	調査団員数	7 名	計画申請	58 年 4 月 20 日	国庫(総計)第 4-46 号
	現地調査期間	58.7.13 ~ 58.7.21 (4名)	計画承認	58 年 5 月 31 日	58 通第 1153 号
報告書説明期間	58.12.1 ~ 58.12.10 (3名)	調査完了日	59 年 2 月 28 日		
使用コンサルタント名		日本工営 幹 (業務実施契約)		担 当	資源調査課 北島正豪

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

ルソン島中央部を流れるカガヤン川の支流であるマツノ川に大規模ダムを築造して水力発電及び農業用水を確保するため、その最適開発計画を策定するため、本年は、57年度に引き続き現地調査を行った。

- (I) 水 文
- (II) 発電力量
- (III) ダム、発電所構造物の設計・計算
- (IV) 農業開発計画との整合を図り
- (V) 最終報告書(案)の現地報告を行った。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

- (I) フィージブルである。
- (II) 本プロジェクトの総投資額は、約4.2億米ドルと見積もられ、現下のフィリピンの財政事情を勘案すると、農業開発を第1段階、第2段階でダム・水力開発を行う2段階開発方式が良い。
- (III) 勧告としては、マツノ川に設置した量水標及び雨量計は適切な管理をし、信頼性のある資料を求めておくこと。

(3) その他(今後の見通し等)

フィリピンの経済状況の底速があるものの、本プロジェクトの実施にフィリピン政府がどう対応するのか注目する必要がある。

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位：円)

区 分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等運送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合 計
① 計 画 額	事業団直営分	1,506,000	569,000	0	0	0	677,000	2,752,000
	コンサル契約分	1,439,000	171,000	0	0	12,363,000	64,568,000	78,541,000
	計	2,945,000	740,000	0	0	12,363,000	64,568,000	81,293,000
② 変更・流用額	事業団直営分							
	コンサル契約分							
	計							
③ 変更・流用後額	事業団直営分							
	コンサル契約分							
	計							
④ 支出実績額	事業団直営分	855,103	455,824	0	0	0	111,790	1,422,722
	コンサル契約分	1,378,000	171,000	0	0	8,914,000	64,235,000	74,698,000
	計	2,233,103	626,824	0	0	8,914,000	64,235,000	76,120,722
⑤ 差 引 額 (①又は③-④)	事業団直営分	650,892	113,176	0	0	0	565,210	1,329,278
	コンサル契約分	61,000	0	0	0	3,449,000	333,000	3,843,000
	計	711,892	113,176	0	0	3,449,000	333,000	5,172,278

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	①契約締結額	② 変 更 額	③契約変更後額	④支出実績額	⑤ 差 引 額 (①-④)
日 本 工 務 株	78,541,000	0	0	74,698,000	3,843,000

国名		ケニア共和国			
プロジェクト名		和	ケニア共和国ソンドウ川水力発電開発計画事前調査		
		外	Preliminary Survey on the Sondu River Hydroelectric Power Development project in the Republic of Kenya.		
調査団	団長	氏名	鈴木 治夫	総支出経費	12,304,676 円
		所属	国際協力事業団 鉱工業計画調査部 資源調査課長	調査の種類	事前
	調査団員数	6 名	計画申請	58 年 4 月 25 日	国協(銀計)第 4-56 号
	現地調査期間	58.10.18 ~ 58.11.5	計画承認	58 年 6 月 8 日	58 通第 1227 号
	報告書説明期間		調査完了日	59 年 2 月 15 日	
使用コンサルタント名		特 INA 新土木研究所 (役務提供契約)		担当	資源調査課 北島正豪

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

ケニア西部のビクトリア湖に注ぐソンドウ川の水力発電及び灌漑開発調査のための S/W に署名し、本格的な F/S 実施のために必要事項を調査すること。

調査内容は下記の通り。

- 1) 関係機関との協議
- 2) 現地踏査
- 3) 資料収集
- 4) 上記結果を取りまとめた報告書の印刷・製本。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

ほぼ原案通りの S/W に署名した。

(3) その他(今後の見通し等)

59 年 1 月より本格調査を開始した。

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位：円)

区 分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等運送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合 計
① 計 百 類	事業団直営分	7,403,000	690,000	90,000	0	500,000	0	8,853,000
	コンサル契約分	0	563,000	0	0	3,746,000	0	4,309,000
	計	7,403,000	1,253,000	90,000	0	500,000	170,000	13,162,000
② 変更・流用類	事業団直営分							
	コンサル契約分							
	計							
③ 変更・流用後類	事業団直営分							
	コンサル契約分							
	計							
④ 支出実績類	事業団直営分	7,374,394	512,902	40,930	0	257,000	0	8,211,676
	コンサル契約分	0	347,000	0	0	3,746,000	0	4,093,000
	計	7,374,394	859,902	40,930	0	257,000	26,450	12,304,676
⑤ 差引類 (①契約③-④)	事業団直営分	28,606	177,098	49,070	0	243,000	0	641,324
	コンサル契約分	0	216,000	0	0	0	0	216,000
	計	28,606	393,098	49,070	0	243,000	143,550	857,324

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	①契約締結額	② 変 更 額	③契約変更後額	④支出実績額	⑤ 差 引 額 (①-④)
特 I N A 新 土 木 研 究 所	4,309,000	0	0	4,093,000	216,000

国名		マレーシア				
プロジェクト名		和	マレーシア・テカイ川水力発電開発計画調査			
		外	The Feasibility Study on the Thekai Hydroelectric Power Development Project in the Malaysia.			
調査団	団長	氏名	真比良 敏一		総支出経費	50,660,477 円
		所属	東電設計 鶴		調査の種類	本 格
	調査団員数	2 名		計画申請	58 年 4 月 25 日	国協(総計)第 4-64 号
	現地調査期間			計画承認	58 年 6 月 8 日	58 通第 1225 号
	報告書説明期間	58. 7.20 ~ 58. 7.29		調査完了日	58 年 12 月 28 日	
使用コンサルタント名		東電設計 鶴 (業務実施契約)		担 当	資察調査課 横邊正夫	

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

マレー半島中部・パハン州テカイ川の水力発電開発計画について技術的・経済的な妥当性を検討することを目的とした。

今年度は国内作業を行った後最終報告書ドラフトを作成し、「マ」側に説明を行って諒解を得た後、最終報告書を印刷・製本し、送付した。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

本プロジェクトが技術的・経済的に妥当であり、実現に向けて準備を進めるよう勧告した。

(3) その他(今後の見通し等)

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位：円)

区 分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等運送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合 計
① 計 画 類	事業団直営分	513,000	206,000	0	0	0	250,000	969,000
	コンサル契約分	916,000	0	111,000	0	7,710,000	42,218,000	50,955,000
	計	1,429,000	206,000	111,000	0	7,710,000	42,218,000	51,924,000
② 変 更 類	事業団直営分	0	0	0	0	0	550,000	550,000
	コンサル契約分	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	550,000	550,000
③ 変 更 後 類	事業団直営分	513,000	206,000	0	0	0	800,000	1,519,000
	コンサル契約分	916,000	0	111,000	0	7,710,000	42,218,000	50,955,000
	計	1,429,000	206,000	111,000	0	7,710,000	42,218,000	52,474,000
④ 支 出 実 績 類	事業団直営分	0	0	0	0	0	611,477	611,477
	コンサル契約分	916,000	0	0	0	6,915,000	42,218,000	50,049,000
	計	916,000	0	0	0	6,915,000	42,218,000	50,660,477
⑤ 差 引 類 (③-④)	事業団直営分	513,000	206,000	0	0	0	188,523	907,523
	コンサル契約分	0	0	111,000	0	795,000	0	906,000
	計	513,000	206,000	111,000	0	795,000	188,523	1,813,523

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	① 契約締結額	② 変 更 額	③ 契約変更後額	④ 支出実績額	⑤ 差引額 (①-④)
東 電 設 計 科	50,955,000	0	0	50,049,000	906,000

国名	インドネシア共和国			総支出経費	36,516,394 円	
プロジェクト名	和	インドネシア共和国コタパンジャン水力発電開発計画調査			調査の種類	本 格
	外	The Peasibility Study on the Kotapangjang Hydroelectric Power Development Project in the Republic of Indonesia.				
調査団	団長	氏名	島田良秋	計画申請	58年4月25日	国協(総計)第4-65号
		所属	東電設計部	計画承認	58年6月8日	58通第1226号
		調査団員数	7名	調査完了日	59年3月31日	
		現地調査期間	58. 6.27 ~ 59. 3.11 (5名)	担 当	資源調査課 篠邊正夫	
	報告書説明期間	59. 2.12 ~ 59. 2.19 (2名)				
使用コンサルタント名	東電設計部 (業務実施契約)					

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

スマトラ島中部に位置するカンバル川コタパンジャン地区における水力発電開発計画に対し技術的・経済的な妥当性を検討する。

本年度は、補足的な地質調査を行い、それまでの調査結果を取りまとめて、最終報告書ドラフトを作成し「イ」側に説明を行った。また、説明終了後、最終報告書の印刷・製本を行い送付した。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

プロジェクト実現に向けて準備を進めるよう勧告した。

(3) その他(今後の見通し等)

59年度円借案件として要請が上がってきている。

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位:円)

区 分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等運送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合 計
① 計 画 類	事業団直営分	515,000	125,000	0	0	0	341,000	981,000
	コンサル契約分	4,279,000	4,626,000	0	0	6,220,000	19,821,000	34,946,000
	計	4,794,000	4,751,000	0	0	6,220,000	19,821,000	35,927,000
② 変 更 類	事業団直営分	0	0	0	0	0	0	0
	コンサル契約分	533,000	197,000	0	0	691,000	0	1,421,000
	計	533,000	197,000	0	0	691,000	0	1,421,000
③ 変 更 後 類	事業団直営分	515,000	125,000	0	0	0	341,000	981,000
	コンサル契約分	4,812,000	4,823,000	0	0	6,220,000	20,512,000	36,367,000
	計	5,327,000	4,948,000	0	0	6,220,000	20,512,000	37,348,000
④ 支 出 実 績 類	事業団直営分	420,317	57,873	0	0	0	183,204	661,394
	コンサル契約分	4,812,000	4,311,000	0	0	6,220,000	20,512,000	35,855,000
	計	5,232,317	4,368,873	0	0	6,220,000	20,512,000	36,516,394
⑤ 差 引 類 (③-④)	事業団直営分	94,683	67,127	0	0	0	157,796	319,606
	コンサル契約分	0	512,000	0	0	0	0	512,000
	計	94,683	579,127	0	0	0	157,796	831,606

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	①契約締結額	② 変 更 額	③契約変更後額	④支出実績額	⑤ 差 引 額 (③-④)
東 電 設 計 科	34,946,000	1,421,000	36,367,000	35,855,000	512,000

国名		中華人民共和国			
プロジェクト名		和	中華人民共和国工場(家具・ガラス・光学機器)近代化計画事前調査		
		外	The Preliminary Study for the Factory(Furniture,Glass, Optics)Modernization Program in the People's Republic of China		
調査団	団長	氏名		総支出経費	56,000 円
		所属		調査の種類	事前
	調査団員数		計画申請	58年4月26日	国協(総計)第4-73号
	現地調査期間		計画承認	58年6月8日	58通第1230号
	報告書説明期間		調査完了日	58年9月30日	
使用コンサルタント名			担当	工業調査課 喜多村 裕介	

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

昭和57年度の工場近代化要請のあった、烟台木材工業公司第2家具廠、上海玻璃瓶二廠、天津光学儀器廠の既存設備の利用に重点をおいた工場近代化計画調査を行うために、57年度において事前調査を行なった。

本件は、この事前調査の結果を取りまとめ、報告書の作成を行なうものである。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

事前調査報告書の作成を行なった。

(3) その他(今後の見通し等)

(1)の3工場について本格調査を実施する。

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位：円)

区	分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等移送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合計
① 計画額	事業団直営分	0	0	0	0	300,000	0	0	300,000
	コンサル契約分	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	300,000	0	0	300,000
② 変更・流用額	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
③ 変更・流用後額	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
④ 支出実績額	事業団直営分	0	0	0	0	56,000	0	0	56,000
	コンサル契約分	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	56,000	0	0	56,000
⑤ 差引額 (①-④)	事業団直営分	0	0	0	0	244,000	0	0	244,000
	コンサル契約分	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	244,000	0	0	244,000

団 名						
プロジェクト名	和	調査団収集資料整備事業				
	外					
調 査 団	団 長	氏 名			総支出経費	10,114,721 円
		所 属			調査の種類	
		調査団員数			計画申請	58年5月6日 国協(総計)第4-93号
		現地調査期間			計画承認	58年5月26日 58通第1266号
		報告書説明期間			調査完了日	59年3月31日
使用コンサルタント名		経団連協力サービス・センター (業務実施契約)		担 当	総工業計画課 石田多加子	

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

〔目的〕 各調査団の収集する資料が年々膨大な量に達してきている。そのため

以下の目的により本件を実施した。

- a) 収集資料の各プロジェクト間の相互利用
- b) 資料の重複及び散逸の防止
- c) 関連情報の精度の向上等

〔内容〕

- a) 収集資料の分野別、地域別等分析
- b) カ マイクロフィッシュ作成
- c) カ 翻訳
- d) そ の 他

(2) 結論及び勧告(調査結果)

(3) その他(今後の見通し等)

昭和59年度に継続の予定である。

経費科目	経費細目の項目	実施計画額(A)	支出額(B)	実施実績(内訳)	差引(A-B)
報告書作成費	(1) 収集資料分析費	2,104,000 円	1,384,750 円	(イ) 一般資料要約 0 円 英 語 → 日 本 語 1,800円× 0枚= 0 円 仏・西語 → 日 本 語 2,500円× 0枚= 0 円 特殊語 → 日 本 語 3,700円× 0枚= 0 円 (ロ) 専門資料要約 0 円 英 語 → 日 本 語 2,200円× 0枚= 0 円 仏・西語 → 日 本 語 3,000円× 0枚= 0 円 特殊語 → 日 本 語 4,400円× 0枚= 0 円 (ハ) 収集資料翻訳料 1,384,750 円 英 語 → 日 本 語 2,000円×456枚=912,000 円 仏・西語 → 日 本 語 2,500円×187枚=467,500 円 特殊語 → 日 本 語 3,500円×1.5枚= 5,250 円	719,250 円
	(2) マイクロフィッシュ作成費	947,200 円	1,885,560 円	収 集 資 料 2,000円× 17枚= 34,000 円 報 告 書 2,000円×810枚=1,620,000 円 マイクロコピー 280円×827枚= 231,560 円	△ 938,360 円
	(3) 目録作成費	560,000 円	0 円	2,800円× 0部= 0 円	560,000 円
	(4) 収集資料目録送料	49,600 円	0 円	(イ) 郵送諸掛 416円× 0部= 0 円 (ロ) 運搬雑務 8,000円× 0部= 0 円	49,600 円

経費科目	経費科目の項目	実施計画額(A)	支出額(B)	実施実績(内訳)	差引(A-B)
	(5) 収集資料の選別・整理等 整備費	5,924,892 円	5,924,892 円	493,741 円 × 12ヵ月 = 5,924,892 円 収集図書 153点 地図 24点 計177点の 収集資料について整備を実施した。	0 円
	(6) 諸経費	958,569 円	919,519 円	9,195,202 円 × 0.1 = 919,520 円 諸経費の支出実績額919,519円は月当り出来高に対するパー セントの合計数字である。従って、年当り出来高パーセント数 字(919,520円)と1円の誤差がある。	39,050 円
	合 計	(10,544,261)円 10,545,000	10,114,721 円		(429,540)円 430,279

国名				
プロジェクト名		和	調査事業の計画策定・管理のための附帯業務	
		外		
調査団	団長	氏名	総支出経費	6,797,162 円
		所属	調査の種類	
	調査団員数		計画申請	58年5月9日 国協(総計)第4-94号 58年12月7日 第11-148号
	現地調査期間		計画承認	58年6月18日 58通第1267号 59年1月17日 第2359号
	報告書説明期間		調査完了日	59年3月31日
使用コンサルタント名			担 当	鉱工業計画課 吉田良晴

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

- ① 発展途上国の鉱工業関係開発計画及び各種要請プロジェクトの把握、事前検討、調査計画策定等のため、関係者との間で検討会を開催し、事業の効果的かつ円滑なる実施に務めた。
- ② 調査事業に対する関係者の啓蒙を図るため「業務の概要」「実績報告書」等の印刷を行った。
- ③ 計画策定、諸手続き等の事務効率化を図るため、複写機の維持管理、消耗品の購入等を行った。
- ④ 海外における調査事業の円滑化を図るため、海外事務所において相手国政府関係機関との調整、報告書の引取等を行った。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

(3) その他(今後の見通し等)

附帯費支出実績内訳

(単位：円)

区 分	内 訳	計 画 額	実 績 額	備 考
	交 通 費	132,000	0	
	会 議 費	420,000	474,800	
	消 耗 品 費	259,000	153,925	
	資 機 材 等 購 入 費	500,000	144,620	
	諸 謝 金	120,000	0	
	国 内 旅 費	146,000	0	
	そ の 他	11,819,000	6,023,817	内訳別添参照
	合 計	13,396,000	6,797,162	

別添

その他の内訳

(単位:円)

費目	積算内訳	計 画 額	実 績 額	備 考
印刷製本費		2,650,000	1,462,940	
調査業務手続便覧	③3,000円×100部	300,000	0	
業務の概要等	③700円×500部	350,000	180,000	
実績報告書	③7,000円×50部+③1,500円×100部	500,000	457,000	確定資料他
業務マニュアル	③1,000円×2種×50部	100,000	370,940	
鉱工業関係部事業実施状況	③2,000円×3種×100部	600,000	0	
各種様式	③160円×50種×100枚	800,000	455,000	
複写機維持管理費		5,008,560	3,075,553	
機材レンタル料	③81,700円×12月	980,400	581,400	
コピー料金	(③7.40円×26,000枚+③5.57円×4,000枚+③3.17円×20,000枚)×12月	3,336,960	2,067,118	
用紙代	③1.152円×50,000枚×12月	691,200	427,035	50%負担
ワード・プロセッサー維持管理費		1,080,000	0	
リース料	③80,000円×12月	960,000	0	
保守料	③10,000円×12月	120,000	0	
資料等送料	③16,000円×3種×31カ所	1,488,000	0	
海外事務所計画策定・管理費		1,593,000	1,485,324	
ジャカルタ事務所		238,000	194,122	
ブエノス・アイレス事務所		132,000	131,699	
サント・ドミンゴ支部		99,000	99,000	
ナイロビ事務所		299,000	298,826	
クアラ・ランプーン事務所		450,000	399,581	
リマ事務所		92,000	92,000	
カトマンドウ事務所		137,000	136,402	
シンガポール事務所		146,000	133,694	
合 計		(11,819,560) 11,819,000	6,023,817	

国名		エジプト・アラブ共和国				
プロジェクト名		和	エジプト・アラブ共和国火力発電開発計画調査			
		外	Feasibility Study on the Coal Fired Power Plant in Sinai, the Arab Republic of Egypt.			
調査団	団長	氏名	和 智 鉄 也		総支出経費	209,622,089 円
		所属	西日本技術開発社		調査の種類	本 格
	調査団員数	13 名		計画申請	58 年 5 月 9 日	国協(総計)第 4-95 号
	現地調査期間	58. 5. 24 ~ 58. 7. 7 (8名) 58. 11. 30 ~ 58. 12. 14 (6名)		計画承認	58 年 5 月 20 日	58 通第 1282 号
	報告書説明期間			調査完了日	59 年 2 月 28 日	
使用コンサルタント名		西日本技術開発社 (業務実施契約)		担 当	資源調査課 北 島 正 泰	

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

シナイ半島に最大出力 600 MW (第一次) の石炭又は石油焚きが出来るデュアルシステム方式の火力発電所を建設するための F/S 調査を行った。本年度の調査内容は、1. 現地調査、2. 最終報告書案の現地説明、3. 国内作業をもって最終報告書のとりまとめを行い、現地側にその報告書を送付した。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

- (i) 調査の結果は、フェージブルである。
- (ii) このプロジェクトは、1988/89年までに運転開始をしなければならない最も重要なものであり、低利長期返済の資金をうることによって十分に実行可能である。
- (iii) 早急に業務開始をするためには、外貨借款手続きを早めに実施すべきである。

(3) その他(今後の見通し等)

59年度円借案件として取り上げられるかどうか注目する必要がある。

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位：円)

区	分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 負機材等運送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合計
① 計 画 額	事業団直営分	3,066,000	599,000	0	0	0	0	1,381,000	5,046,000
	コンサル契約分	13,484,000	6,865,000	2,148,000	0	10,066,000	180,697,000	0	212,260,000
	計	16,550,000	6,464,000	2,148,000	0	10,066,000	180,697,000	1,381,000	217,306,000
② 変更・活用額	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
③ 変更・活用後額	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
④ 支出実績額	事業団直営分	921,087	166,559	0	0	0	0	746,443	1,834,089
	コンサル契約分	13,484,000	3,746,000	1,476,000	0	10,066,000	179,016,000	0	207,788,000
	計	14,405,087	3,912,559	1,476,000	0	10,066,000	179,016,000	746,443	209,622,089
⑤ 差引額 (①又は③-④)	事業団直営分	2,144,913	432,441	0	0	0	0	634,557	3,211,911
	コンサル契約分	0	2,119,000	672,000	0	0	1,681,000	0	4,472,000
	計	2,144,913	2,551,441	672,000	0	0	1,681,000	634,557	7,683,911

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	①契約時結額	② 変 更 額	③契約変更後額	④支出実績額	⑤ 差 引 額 (①-④)
西日本技術開発株式会社	212,260,000	0	0	207,788,000	4,472,000

国名		フィリピン共和国					
プロジェクト名		和 フィリピン共和国活性炭工業振興開発計画調査					
		外 The Feasibility Study on the Establishment of the Powdered Activated Carbon Plants in the Republic of the Philippines.					
調査団	団長	氏名	①安達昭一	②石橋一二	③植木茂夫	総支出経費	66,042,452 円
		所属	北越炭素工業株式会社	通産省工業技術院	銚日本プラント協会	調査の種類	本格
	調査団員数	18 名			計画申請	68 年 5 月 9 日	国総(総計)第 4-96 号
	現地調査期間	① 58.11.6 ~ 58.11.10 (2名) ③ 59.2.6 ~ 59.3.6 (4名) ② 59.1.5 ~ 59.3.6 (12名)			計画承認	58 年 6 月 20 日	58 通第 1265 号
	報告書説明期間				調査完了日	59 年 3 月 31 日	
使用コンサルタント名		銚日本プラント協会 北越炭素工業株式会社 (業務実施契約・役員提供契約)			担当	工業調査課 齊多村 裕介	

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

フィリピン国立科学研究所(NIST)は工業技術院、北海道工業開発試験所との間で熱帯植物からの活性炭製造(粉末活性炭)に関する共同研究を行ってきた。この結果、活性炭の製造技術及び得られる活性炭の品質についての基礎的な技術の確立がみられたので、活性炭工業のフェージビリティ調査を実施する。

(1) データ及び資料の収集と分析

(2) 最適樹種の選定

1) 活性炭性能分析

(3) 最適サイトの選定

(4) 概念設計

(2) 結論及び勧告(調査結果)

炭化試験・賦活試験及び分析試験に必要な調査用機材を購送・据付し稼働テストを行なうと伴に市場調査と原料調査を実施する。

(3) その他(今後の見通し等)

59年度は、本格的な炭化試験・賦活試験を行ない、最適樹種の選定並びに最適プラントサイトの選定をすると伴に、プラントの概念設計を行なう。

調査業務の実施に要する経費細目の配分

()内数字は本件に係る細目書458-34(1)~既承認済みの計頁類である。

(単位:円)

区	分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等運送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合計
① 計 画 類	事業団直営分	8,299,000	569,000	2,650,000	(32,052,000)	0	0	703,000	(32,052,000) 12,221,000
	コンサル契約分	2,464,000	2,340,000	0	0	0	18,848,000	0	23,652,000
	計	10,763,000	2,909,000	2,650,000	(32,052,000)	0	18,848,000	703,000	{(32,052,000) 35,873,000 67,925,000
② 変更・液用類	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
③ 変更・液用後類	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
④ 支出実績類	事業団直営分	8,354,875	779,353	1,608,884	(31,757,000)	0	0	93,340	(31,757,000) 10,836,452
	コンサル契約分	2,464,000	2,103,000	0	0	0	18,882,000	0	23,449,000
	計	10,818,875	2,882,353	1,608,884	(31,757,000)	0	18,882,000	93,340	{(31,757,000) 34,285,452 66,042,452
⑤ 差 引 類 (①-④)	事業団直営分	△ 55,875	△ 210,353	1,041,116	(295,000)	0	0	609,660	(295,000) 1,384,548
	コンサル契約分	0	237,000	0	0	0	△ 34,000	0	203,000
	計	△ 55,875	26,647	1,041,116	(295,000)	0	△ 34,000	609,660	{(295,000) 1,587,548 1,882,548

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	①契約締結額	② 交 更 額	③契約変更後額	④支出実績額	⑤ 差 引 額 (①-④)
船 日 本 プ ラ ン ト 協 会	13,178,000	0	0	13,091,000	87,000
北 越 炭 素 工 業 株	10,301,000	0	0	10,151,000	150,000
島 津 製 作 所	207,000	0	0	207,000	0
	(23,686,000)	0	0	(23,449,000)	(237,000)

国名		スワジランド王国			
プロジェクト名		和	スワジランド王国ルブク石炭開発計画事前調査		
		外	Preliminary Survey for the Lubhuku Coal Development Project in the Kingdom of Swaziland.		
調査団	団長	氏名	和田文雄	総支出経費	5,159,873 円
		所属	国際協力事業団 鉱工業計画調査部長	調査の種類	事前
	調査団員数	3 名	計画申請	58 年 5 月 11 日	国協(鉱計)第 4-119 号
	現地調査期間	58. 6. 24 ~ 58. 7. 9	計画承認	58 年 6 月 17 日	58 通第 1329 号
	報告書説明期間		調査完了日	58 年 10 月 31 日	
使用コンサルタント名			担当	資源調査課 立石 勝	

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

スワジランド王国政府との間で本格調査実施に係るスコープオブワーク(S/W)について署名することを目的とした。

調査内容としては①S/W(案)の作成、②サイト地表踏査、③S/W協議、④現地調査結果の報告書説明を行った。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

当該S/Wに署名を行った。

(3) その他(今後の見通し等)

昭和58年11月から昭和59年3月の期間に亘り本格調査の一部として、総延長1,400 m計4本の試錐工事、トラックマウント試錐機システム2式及び消耗機材を供与した。

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位：円)

区	分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等運送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合計
① 計 画 額	事業団直営分	4,776,000	389,000	110,000	0	250,000	0	150,000	5,675,000
	コンサル契約分	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	4,776,000	389,000	110,000	0	250,000	0	150,000	5,675,000
② 変更・費用類	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
③ 変更・費用後類	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
④ 支出実績額	事業団直営分	4,779,995	263,448	87,650	0	0	0	28,780	5,159,873
	コンサル契約分	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	4,779,995	263,448	87,650	0	0	0	28,780	5,159,873
⑤ 差 引 額 (①又は②-④)	事業団直営分	△ 3,995	125,552	22,350	0	250,000	0	121,220	515,127
	コンサル契約分	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	△ 3,995	125,552	22,350	0	250,000	0	121,220	515,127

国名		フィリピン共和国			
プロジェクト名		和	フィリピン共和国レイテ・ミンダナオ送電線開発計画調査		
		外	The Feasibility Study on the Leyte-Mindanao Interconnection Project in the Republic of Philippines.		
調査 期間	団長	氏名	田子信雄	総支出経費	209,300,786円
		所属	電源開発局	調査の種類	本格
		調査精員数	17名	計画申請	58年5月10日 国協(鉅計)第4-129号
		現地調査期間	58.6.14 ~ 58.8.12 (5名) 58.11.28 ~ 58.1.26 (8名)	計画承認	58年6月13日 58通第1328号
	報告書説明期間	58.10.12 ~ 58.10.26 (2名) 中間報告書説明 59.2.22 ~ 59.3.7 (2名) 最終報告書ドラフト説明	調査完了日	59年3月31日	
使用コンサルタント名		電源開発局 } 共同企業体(業務実施契約) 日本工営院		担 当	資源調査課 永田邦昭

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

レイテ島とミンダナオ島を送電線によって結び、ミンダナオ島トンゴナン地熱発電所の余剰電力を利用しようとする計画に対し、技術的・経済的妥当性を検討することを目的とした。

本年度は、海底測量及び調査を行って海底部分の送電線ルートを決定し、それまで実施された調査を取りまとめ、最終報告書ドラフトを作成し、「比」側に説明を行った。また、説明の後、印刷・製本して送付した。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

技術的・経済的に妥当であると結論づけられた。

(3) その他(今後の見通し等)

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位:円)

K	分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等購送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 附帯費	合計
① 計 画 額	事業団直営分	1,404,000	461,000	30,000	0	0	0	650,000	2,545,000
	コンサル契約分	5,962,000	10,780,000	7,266,000	0	5,860,000	116,984,000	0	146,852,000
	計	7,366,000	11,241,000	7,296,000	0	5,860,000	116,984,000	650,000	149,397,000
② 変 更 額	事業団直営分	0	0	0	0	0	0	0	0
	コンサル契約分	6,133,000	12,248,000	17,038,000	0	0	28,312,000	0	63,731,000
	計	6,133,000	12,248,000	17,038,000	0	0	28,312,000	0	63,731,000
③ 変 更 後 額	事業団直営分	1,404,000	461,000	30,000	0	0	0	650,000	2,545,000
	コンサル契約分	12,095,000	23,028,000	24,304,000	0	5,860,000	145,296,000	0	210,583,000
	計	13,499,000	23,489,000	24,334,000	0	5,860,000	145,296,000	650,000	213,128,000
④ 支 出 実 績 額	事業団直営分	0	0	0	0	0	0	265,786	265,786
	コンサル契約分	12,095,000	22,704,000	23,683,000	0	5,860,000	144,693,000	0	209,035,000
	計	12,095,000	22,704,000	23,683,000	0	5,860,000	144,693,000	265,786	209,300,786
⑤ 差 引 額 (③-④)	事業団直営分	1,404,000	461,000	30,000	0	0	0	384,214	2,279,214
	コンサル契約分	0	324,000	621,000	0	0	603,000	0	1,548,000
	計	1,404,000	785,000	651,000	0	0	603,000	384,214	3,827,214

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	① 契約締結額	② 変 更 額	③ 契約変更後額	④ 支出実績額	⑤ 差 引 額 (③-④)
日 本 工 営 務 有 限 公 司 電 源 開 発 有 限 公 司 共同企業体	146,852,000	63,731,000	210,583,000	209,035,000	1,548,000

国名		トルコ共和国			
プロジェクト名		和	トルコ共和国ベシュコナック水力発電開発計画調査		
		外	The Feasibility Study on the Beskonak Hydroelectric Power Development Project in the Republic of Turkey.		
調査団	団長	氏名	勝 沢 省 三	総支出経費	15,122,330 円
		所属	電源開発特	調査の種類	本 格
	調査団員数	3 名	計画申請	58 年 5 月 11 日	国協(総計)第 4-118 号
	現地調査期間		計画承認	58 年 6 月 23 日	58 通第 1327 号
	報告書説明期間	58. 7. 24 ~ 58. 8. 7	調査完了日	58 年 12 月 24 日	
使用コンサルタント名		電 源 開 発 特 (業務実施契約)		担 当	資源調査課 永田邦昭

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

トルコ南部に位置し、地中海に注ぐキョプルチャイ川ベシュコナック地区の水力発電開発計画に対し、技術的・経済的な妥当性を検討することを目的とした。

本年度は、最終報告書ドラフトを作成し「ト」側に説明を行った後、印刷、製本して送付した。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

プロジェクト実現のため早急に追加地質調査を行うよう勧告した。

(3) その他(今後の見通し等)

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位:円)

区 分		I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等運送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 印刷費	合 計
① 計 画 類	事業団直営分	1,122,000	172,000	0	0	0	0	334,000	1,628,000
	コンサル契約分	2,194,000	236,000	141,000	0	5,670,000	6,105,000	0	14,346,000
	計	3,316,000	408,000	141,000	0	5,670,000	6,105,000	334,000	15,974,000
② 変更・活用類	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
③ 変更・活用後類	事業団直営分								
	コンサル契約分								
	計								
④ 支出実績類	事業団直営分	703,385	55,567	0	0	0	0	175,378	934,330
	コンサル契約分	2,194,000	78,000	141,000	0	5,670,000	6,105,000	0	14,188,000
	計	2,897,385	133,567	141,000	0	5,670,000	6,105,000	175,378	15,122,330
⑤ 差 引 類 (①-④)	事業団直営分	418,615	116,433	0	0	0	0	158,622	693,670
	コンサル契約分	0	158,000	0	0	0	0	0	158,000
	計	418,615	274,433	0	0	0	0	158,622	851,670

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	①契約締結額	② 変 更 額	③契約変更後額	④支出実績額	⑤ 差 引 額 (①-④)
電 経 開 発 特	14,346,000	0	0	14,188,000	158,000

国名		中華人民共和国			
プロジェクト名		和	中華人民共和国浙江水力発電開発計画調査		
		外	The Feasibility Study on the Oh River Hydroelectric Power Development Project in the People's Republic of China.		
調査団	団長	氏名	藤原 淑郎	総支出経費	88,513,486 円
		所属	電源開発院	調査の種類	本 格
		調査団員数	9 名	計画申請	58 年 5 月 13 日 国協(欽計)第 5-17 号
		現地調査期間	58. 7. 3 ~ 58. 7. 16 (5名)	計画承認	58 年 6 月 8 日 58 通第 1297 号
		報告書説明期間	58. 11. 13 ~ 58. 11. 26 (4名)	調査完了日	59 年 3 月 1 日
使用コンサルタント名		電源開発院 (業務実施契約)		担 当	資源調査課 永田 邦昭

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

中国浙江省に位置する瓊江の二地点、澧坑、黄浦（黄浦は逆調整池）の水力発電開発計画に関し、技術的、経済的妥当性を検討することを目的とした。

本年度は、堆砂の問題、経済分析の分野で、中国側と最終打ち合わせを行い、澧坑分最終報告書の作成及び送付を行った。また黄浦分及び澧坑・黄浦総合評価のドラフトを作成し、中国側に説明の上、印刷、製本を行って送付した。

(2) 結論及び勧告（調査結果）

10万人に及ぶ水没人口の補償計画を早急に策定し、プロジェクト実現に向けて準備を進めるよう勧告した。

(3) その他（今後の見通し等）

調査業務の実施に要する経費細目の配分

(単位:円)

区 分	I 調査旅費	II 現地調査費	III 資機材等運送費	IV 機材供与費	V 報告書作成費	VI 技術費	VII 謝辞費	合 計
① 計 画 類	事業団直営分	865,000	252,000	20,000	0	0	580,000	1,717,000
	コンサル契約分	2,468,000	482,000	80,000	0	7,764,000	76,796,000	87,590,000
	計	3,333,000	734,000	100,000	0	7,764,000	76,796,000	89,307,000
② 変更・活用類	事業団直営分							
	コンサル契約分							
	計							
③ 変更・活用後類	事業団直営分							
	コンサル契約分							
	計							
④ 支出実績類	事業団直営分	701,008	198,362	0	0	0	459,116	1,358,486
	コンサル契約分	2,437,000	273,000	61,000	0	7,764,000	76,620,000	87,155,000
	計	3,138,008	471,362	61,000	0	7,764,000	76,620,000	88,513,486
⑤ 差 引 類 (①-④)	事業団直営分	163,992	53,638	20,000	0	0	120,884	358,514
	コンサル契約分	31,000	209,000	19,000	0	0	176,000	435,000
	計	194,992	262,638	39,000	0	0	176,000	793,514

(コンサルタント契約分内訳)

コンサルタント名	①契約締結額	② 変 更 額	③契約変更後額	④支出実績額	⑤ 差 引 額 (①-④)
電 源 開 発 特	87,590,000	0	0	87,155,000	435,000